

2014 | プロ-フ

APPROACH

KOBE | NO.43
2014.1.10

■特別企画

建築座談会『建築と緑の関係』

『NEXT 21』における第4フェーズ居住実験



(一社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部

神戸市耐震キャラクター
オキールファミリー

APPROACH No.43

(一社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部

APPROACH No.43

巻頭挨拶	新年の挨拶	神戸支部長	田中 邦男	1
	新年に寄せて	神戸市長	久元 喜造	2
	新年のご挨拶	神戸市都市計画総局建築指導担当局長	阿部 憲敏	3
	新年のご挨拶	神戸市都市計画総局住宅整備担当部長	三木 太志	4
	新年のご挨拶	神戸市都市計画総局総務部耐震化促進室室長	矢島 利久	5
	新年のご挨拶	神戸すまいまちづくり公社住環境再生部長	井垣 昭人	6
	東日本大震災復興支援に携わって			7
	神戸市都市計画総局建築技術部建築課建築第2係	嘉本	亘	
〈特別企画〉				
建築座談会	建築と緑との関係			9
	前田 圭介 荻野 寿也 前田 由利 三宅 正浩			
実験集合住宅「NEXT21」における第4フェーズ居住実験				18
	大阪ガス株式会社 リビング開発部 技術企画チーム	目堅 智久		
事業報告	定時総会・講習会・研修見学会			22
活動報告	平成25年度第1回法規講習会レポート			26
	研修部	吉田 多雄		
	大阪ガス㈱「NEXT21」見学会			27
	研修部	吉田 多雄		
	(一社)愛媛県建築士事務所協会青年部との研修交流会			28
	広報部	前田 由利		
	神戸支部一泊研修旅行in直島/こんびら温泉			30
	㈱竹久建築設計事務所	平川 宏行		
	女性建築士セミナーについて			32
	女性建築士委員会	前田 由利		
	女性建築士による建築相談会について			33
	女性建築士委員会	前田 由利		
	大阪近代建築を巡るタウンウォーク			34
	研修部	戎 眞弓		
	日帰り研修			35
	賛助会代表幹事	北村 憲司		
	フォトコンテスト			36
	前田信行一級建築士事務所	前田 信行		
〈建築士事務所キャンペーン〉				
	第5回建築士事務所キャンペーン報告			38
	灘区地区別協議会担当	成瀬 秀一		
	耐震診断・改修設計促進キャンペーン			40
	共催セミナー担当	成瀬 秀一		
	平成25年度建築士事務所キャンペーン報告			42
	建築士事務所キャンペーン実行委員長	川崎 史		
	マンション管理組合向け大規模修繕工事セミナー開催			44
	共催セミナー担当	成瀬 秀一		
	同好会だより			47
	作品紹介			48
	会員の広場			50
	新入会員紹介			57
	協賛広告			58
	編集後記			61

本誌の掲載文は、執筆者が個人の責任において自由に書く建前をとっております。掲載文の文責は執筆者本人にあります。



新年の挨拶

神戸支部長 田中 邦男

新年明けましておめでとう御座います。

平素より神戸支部会員並びに賛助会員の皆様、また関係者各位におかれましては、支部活動に多大なご支援ご協力を賜りまして誠に有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

神戸支部長職を仰せつかりまして、1年と8ヶ月が経ち、新年を迎えることが出来ましたこと一重に皆様方のご指導ご協力のお陰と深く感謝申し上げます。

この間、本部の協力を得まして東日本大震災の被災地への視察研修・宮城会との意見交換会、女性建築士委員会によるセミナーの開催、愛媛会との交流会、一般市民向けセミナーの開催、支部では平成13年から行っております事務所キャンペーンの開催、研修・見学会等、皆様方のご協力を得まして多様な事業を行うことが出来ました。特に、愛媛会との交流会は（私も参加させて頂きましたが）、青年部との交流会でした。神戸支部も今年で創立55周年になりますが青年部なるものはありません。これからの神戸支部の発展を考えると若い会員の方々にもっともっとのびのびと活動して頂きたいと思います。

世間ではアベノミクス効果でしょうか景気が少し上向いて来ているようで春闘ではベースアップを目標にされているようです。

建築設計監理業務への効果は、まだまだの様で

す。しかも、私たちの置かれている環境は決して良いとは言えません。法改正により建築士に対する要求は年々厳しく、責任は一層重くなってきています。逆に建築士としての立場、業務に対する報酬等はまだまだ良くなったとは言えません。一般の方々にも認知して貰い私たちの立場を確立するには、法律に頼るだけではダメなのでしょうが、やはり新法を早く成立して頂く事が必要であると思います。

神戸市も新市長が誕生しました。私達が住んでいるこの神戸市をより住み良い街にして行く為には行政だけでは難しいと思いますし、民間だけでも出来ません。やはり、官民が一体となって事業に取り組んでいく必要があると思います。われわれも一方通行ではなく建築士事務所として市への提案・提言をしていくと共に、市の行う事業にも積極的に参加協力していく。そうする事により良い街になると思います。

支部事業は、会員皆様のご協力をなくしては成り立ちません。是非、会員の皆様にもこれまで以上に事業に参加・ご協力頂きより一層会を盛り上げて頂きたいと思います。

今後ともご指導・ご鞭撻の程お願いすると共に、皆様方のますますのご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年に寄せて

神戸市長 久元 喜造

あけましておめでとうございます。皆さんが、健やかに新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年十一月に、第十六代神戸市長に就任しました。新しい年を迎え、改めて責任の大きさを痛感しております。神戸の歴史と神戸市政の歩みをしっかりと受け継ぎ、新しい未来の創造に向けて、全力で取り組んでいきます。

昨年は、神戸に新しい動きを感じるニュースが多くありました。ハーバーランドでは、アンパンマンこどもミュージアムや商業施設「^{ウミエ}umie」がオープンしました。また、iPS細胞を活用した世界で初めての臨床研究がポートアイランドの医療産業都市で始まっています。

このような新しい動きは、神戸に新しい人・物・仕事・情報の流れを増やすことにつながっており、神戸の新たな成長の原動力となっています。今後は、これらの動きをさらに活発にし、神戸を「安定した成長軌道」に乗せていくことが求められます。経済の活性化やにぎわいづくり、雇用の拡大のためのさまざまな取り組みを進めてまいります。

市民の皆さんが夢を持って元気で安心して暮らしていけるよう、全力で取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。



新年のご挨拶

神戸市都市計画総局

建築指導担当局長 阿部 憲 敏

新年あけましておめでとうございます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、神戸市政、とりわけ建築指導行政に、いろいろな場面でご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、建築物のストック対策、なかでも適正な維持管理が今後の重要な課題であると言われて久しいですが、神戸市では建築指導行政の分野から、この点に関し新しい取り組みを始めているところです。

<建築物安全安心実施計画の取り組み>

まず本市では、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、建築物のより一層の安全性、適法性を確保する取り組みを進めるため、平成11年度に建築関係団体や関係行政機関等が連携して「神戸市建築物安全安心推進協議会」を設立しました。そこで「神戸市建築物安全安心実施計画」を策定したのを始めとして、平成11年度から計画期間を5年間として引き継ぎ、現在第3次計画（平成21～25年度）に取り組んでいるところです。この間に完了検査率は、平成10年度に44%だったものが、現在では99%を超えており、定期報告の報告率につきましても、平成10～12年度では70%弱だったものが、現在では約90%にまで向上してきております。

本年度は第3次計画の最終年度にあたり、検証・評価を踏まえて、次期計画の策定作業を行っています。その施策体系のイメージとしては、まず、「予防のための事前対策」をひとつの柱として、建築法令知識の乏しいことによる違反を防止するため、「啓発に努めること」。そして建物所有

者等が適法状態の維持保全に一層努めるよう誘導するため、「インセンティブを付与すること」。ふたつ目の柱として、違反是正を促進するため、危険性の高い物件や累積する違反物件に対応するため、「重点的な検査・指導を行うこと」、という構成のもとに、建築物の安全性、適法性を確保する新しい取り組みを具体化していく予定です。

<老朽危険家屋への対策>

次に、高齢社会の進展や核家族化等に伴い、適正な維持保全がなされていない老朽危険家屋の増加が地域の課題となっています。危険な状況から市民を守るため、家屋の維持保全に対する所有者責任を明確化し、老朽危険家屋の所有者等に必要な措置を講ずるよう指導・助言を行うとともに、安全性確保に必要な勧告やそれに従わない場合の氏名等の公表、所有者等が不明の場合の応急の危険回避措置を行うことができるよう「神戸市建築物の安全性の確保等に関する条例」を一部改正し、昨年7月より施行しました。さらに、専門家派遣、解体除却補助、土地建物寄附受けなどの支援制度を設けており、自主的な是正が促進されることを期待しています。

神戸支部の皆様には、このような取り組みには常に専門家として参画いただいています。

本年もいろいろとお世話になる機会が数多くあるものと存じます。変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、神戸支部の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市都市計画総局

住宅整備担当部長 **三木 太志**

謹んで、新年のお慶びを申し上げます。

日頃は、神戸支部会員の皆様には、神戸市の住宅行政の推進にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、神戸市内には、5万戸を超える市営住宅があります。市営住宅は、神戸市民の住宅セーフティネットの中核としての役割を担っており、神戸市では、この重要な住宅ストックを、できるだけ長く大切に使うことを基本としています。ただ、これらのストックの中には、老朽化の進行や耐震性の不足といった課題を抱えている住宅も多くあることから、市民の皆さんに安心して暮らしていただけるよう、平成12年に「市営住宅マネジメント計画」を、そして平成23年には「第2次市営住宅マネジメント計画」を策定し、これに基づき、市営住宅の再編や改善を進めているところです。

計画の推進にあたっては、建替えを始め、大規模な計画修繕、耐震改修、廃止住宅の解体等、多様な対応を行うこととなりますが、これらのいずれの手法を採るにいたしましても、適切な設計・工事監理が重要であることはもちろんです。これまでも、神戸支部会員の皆様には、多くの市営住宅の多様な工事に関して設計・工事監理にご協力をいただいていることに、改めましてお礼申し上げます。

神戸支部は1959年に発足されたということですので、今年は55周年を迎えられることとなります。これまで、支部活動として、長きにわたり継続され積み重ねてこられたことに深く敬意を表します。今後も、市民の安全安心な住まいづくりにおいて、建築士事務所の果たす役割は非常に大きく、また、耐震診断や耐震補強の推進、マンションの維持管理や大規模修繕等といった、多様化する時代の要請に応えていくためにも、精力的で、かつ市民に身近で開かれた支部を目指した活動に、一層取り組まれますことを心からご期待申し上げます。

最後になりましたが、本年が、皆様にとりましてますますのご発展の年となりますよう祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市都市計画総局

総務部耐震化促進室室長 矢島 利久

新年明けましておめでとうございます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、平素より神戸市すまいの耐震化事業の推進について、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

神戸市では、平成19年度に「神戸市耐震改修促進計画」を策定し、市内の耐震基準を満たしていない、いわゆる「旧耐震基準建築物」の耐震安全性を確保するための取り組みを進めています。市内の建築物を、生活の基本となる「住宅」と「住宅以外の建築物」、さらに「公共」と「民間」の4つに区分し、それぞれの耐震化率の現状と目標、及び実現のための方策などを示しております。現状では、住宅で目標95%に対し86%、住宅以外の民間建築物では目標90%に対し79%となっており、目標の達成年度である平成27年度に向けて益々取り組みを強化していかなければならないところであります。

神戸市・神戸市すまいの安心支援センター（すまいるネット）では、すまいの耐震化を集中的に普及・啓発するため、市民団体・専門家団体・報道機関等と連携し、毎年9月・10月に「すまいの耐震キャンペーン」を開催しています。今年度、兵庫県建築士事務所協会神戸支部の耐震診断員のみなさまには、お忙しい中にも関わらず、板宿商店街にて「建築士による“すまいの相談会”」を開催

いただきありがとうございました。相談から、無料耐震診断の申込みに結び付いた事例もあり、身近な場所で専門家に相談する機会があることで、市民の方々の住まいに関する不安が少しでも解消できたかと思えます。当日は、900名を超える参加者に会場いただき、耐震化の普及啓発を行うことが出来ました。あらためて御礼申し上げます。

こうした取り組みを推進するためには、市民、地域団体、事業者、専門家などの多様な主体が、それぞれの役割を發揮し、連携していくことが重要です。その中でも、住まい・建築の専門家としての建築士の役割はますます重要になっています。兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様が、これまでも、住まいの耐震化の促進、すまいるネットの運営支援等において、安心して豊かな住生活を実現する重要な部分で活躍してこられたことに深く敬意を表します。

また、昨年5月には改正耐震改修促進法が成立し、11月25日に施行され、建築物の耐震化についても新たな動きがありました。法律の改正に伴って、これまで以上にご協力をお願いする機会が出てこようかと思いますが、本年も引き続き耐震化の推進にご協力くださるようお願い申し上げますとともに、皆様方の益々の御多幸とご発展を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸すまいまちづくり公社
住環境再生部長 井垣 昭人

新年明けましておめでとうございます。

平素より当公社の事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

神戸市住宅供給公社（住公）、神戸市都市整備公社（整公）の両公社の技術・ノウハウなどを統合し、新たな展開を図るため「神戸すまいまちづくり公社」が誕生し、1年が経過しました。

住公が従来担っていた住関連事業の大半を継承する「住環境再生部」では、現在、主に二つの事業に鋭意取り組んでいるところです。

ひとつは、「公社賃貸住宅事業」であります。住公が行っておりました一般賃貸住宅、直営特優賃、借上特優賃など、現在121団地・約4,100戸の賃貸住宅の管理運営事業を発展させていくことが使命となっています。これらの公社賃貸にご入居のお客様へのサービスを充実させていくとともに、各種キャンペーンなどの実施を通して、更に多くの市民の方々にご入居頂けるよう努めてまいります。また、より安全、快適におすまい頂けるよう、兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様のお力をお借りしながら、大規模修繕工事の実施やリノベーションなどの施設の改善に積極的に取り組んでいます。引き続きご協力、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

もうひとつは、「すまいるネット（神戸市すまいるの安心支援センター）」や、「こうべまちづくり会館」の運営を通じ、神戸市民のすまいづくりからまちづくりまでをワンストップで支援する体制を

整えつつあります。兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様からは、特にその一翼である「すまいるネット」の運営に対し、ご協力ご支援を頂いております。ここに深く感謝申し上げます。

なかでも、昨年度より、

- ①まちづくり専門家派遣を行っている密集市街地において、すまいに関する支援制度のPRや相談会の開催などを行う「密集市街地再生支援」
- ②成熟期を迎えたニュータウンを対象に、すまいるの耐震化に重点的に取り組んだり、空き家活用に関する相談会を開催することなどによる「団地再生支援」
- ③高経年マンションの管理組合にアドバイザーをモデル的に派遣することなどによる「高経年マンション支援」

といった、3再生事業に取り組み始めました。

今後も、このような市民のすまいづくりからまちづくりまでをトータルに支援する事業を充実させ、「すまい・まちづくりを通じ、市民の豊かな生活に貢献する」という公社の使命を果たしていきたいと考えています。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様方には、本年も引き続き、変わらぬご理解とご協力をお願いするとともに、皆様の益々のご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

東日本大震災復興支援に携わって

神戸市都市計画総局建築技術部建築課建築第2係

嘉 本 巨

平成24年度東日本大震災復興支援のため神戸市から仙台市に建築職として、現在都市計画総局住宅整備部住宅整備課の東畑さんと私の2名が派遣されました。

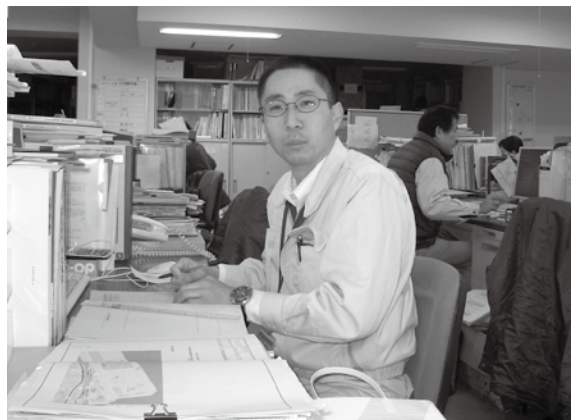
仙台はもちろんの事、東北そのものもほとんど知らない中での事なので、正直不安しが無い状況で、平成24年3月29日に神戸を出発しました。

仙台に到着し、まず驚いたのが、仙台中心部の状況でした。ニュースや前任の人からも状況はある程度聞いていましたが、普段の日常がそのままあり、仙台駅付近や繁華街には人が溢れており賑わっていました。

被災地に対して大変失礼な発言になりますが、正直なところを言えば、これが被災地なのかと言うのが着いた時の気持ちでした。

仙台市役所に配属されて2~3日後に1番の被災地である沿岸部に連れてってもらい、被害のあまりのひどさに言葉を失ってしまいました。テレビ、新聞等で状況は知っていたつもりでしたが、やはり現地に来てみると感覚は全然違うものでした。建物だけでなく、沿岸部のものが根こそぎ失くなっており、改めて津波の恐ろしさを感じました。

また、沿岸部だけでなく、被災とはあまり関係がないと思われがちな内陸部の被災地にも連れてってもらい、そこも想像以上の被害を受けていました。内陸部においても阪神淡路大震災の時と同様の盛り土や、埋め立てを行った所は軒並み被



害を受け擁壁が崩れたりし、特に被害が大きかった地域は住宅地全体が大きく崩壊していました。

東北大震災もどうしても沿岸部の大津波がクローズアップされがちですが、内陸部にも連れてってもらったことで、被災したのが沿岸部だけではなく、全体的に見なければならぬことを改めて感じました。

宮城県や仙台市は過去に宮城沖等の地震が多発している地域のため、建物の耐震補強に関しては意識、補強の割合が高いとのことでした。そのため、沿岸部や内陸部の被災地を除くと建物の崩壊、倒壊での被害は比較的少なかったようです。神戸市に限らず他の自治体等も見習うべき点が多いと感じました。

地域、気候等の違いについて、仙台と神戸では距離感も全然違い、最初に感じたことは、同じ日本国内といえども、日の出が早く、目が覚めたときにもう起きなければと思い時計を見ると4時から5時だったということが結構ありました。気候

の面という点では、東北と言うこともあり、一番厳しいと感じたのはやはり寒さになると思います。梅雨頃までは結構寒く感じ、周囲の方も薄手のコートを羽織る方もおられました。また冬の雪に関しては、仙台は東北でも珍しく、雪が降ってもあまり積もらない地域でしたが、たまに大雪が降る時があり、その時は20~30cm積もり歩くのも困難な時がありました。また仙台平野のため風が非常に強く、気温も低いために積もった雪が凍りなかなか解けないため路面が凍りつき、恥ずかしい話ですが歩く時に結構こけてしまいました。また仕事の際に公用車を運転するとき、スタッドレスタイヤを履いているとはいえ、神戸では六甲山くらいでしか経験しないような道路を運転したりして緊張感を強いられました。

仕事の面では、組織の違いや仕事の進め方の違いに慣れるのに時間がかかりました。

当たり前の話ですが、神戸市役所とも局名も違いますし、また局によっては庁舎が非常に離れた場所にあたりして覚えるのに時間がかかりました、パソコン等のIT関係についても、今はどこの自治体も同じようなシステムを採用していると思いますが、それを一から覚えるのは大変でした。

一番負担に感じたのは、決裁を取るのに担当者が全て市役所内を持ち回りで周らなければならないのは、時間もかかり担当者には非常に重荷になりました。

基本的な形は同じだと思いますが、同じ自治体でも歴史、地域が違えばそれぞれ違うということ

を肌で感じ、経験できたのは非常に貴重な経験でした。

仕事も結構忙しい状況でしたが、仙台の方とは仕事はもちろんのこと、時間外の交流もあり、慣れない土地、環境で仕事をする私たちをサポートしていただいたのはありがたいことでした。

また平成24年10月15日に(一社)兵庫県建築士事務所協会の皆さまが東北視察に行かれ、仙台に寄っていただいた際に、(社)宮城県事務所協会さんとの会合に呼んでいただき、神戸の方と交流させていただきありがとうございました。

自分の体験、感想を述べただけの文章に終始し、中身の無い文章になり申し訳ありません。

微力ではありましたが、少しでも震災の復旧復興に携われたことを今後の経験に生かしていきたいと思います。1日でも早く仙台だけでなく東北全体が復旧、復興することを祈念したいと思います。

最近の地球温暖化による気候変動が生じて来ており、また地震においても今後は関西方面でも南海、東南海地震等の発生による地震、津波の被害が懸念されております。そのため、公共建築物の耐震化のみならず、市民の皆さまに安心してすまいの耐震化を進めていただくためにも、(一社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部の皆さまにはより一層のご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

建築座談会

建築と緑との関係

収録日時：2013年9月9日 収録場所：YURI DESIGN

前田 圭介(建築家) × 荻野 寿也(造園家) × 前田 由利(建築家) (聞き手:三宅正浩(建築家))

表記：前け：前田圭介、荻：荻野寿也、前ゆ：前田由利、三：三宅正浩



建築と緑の関係を積極的に取り組んでおられる前田圭介さんと前田由利さん、そして造園家の荻野寿也さんに、「建築と緑の関係」をテーマに座談会形式でお話をうかがった。

三：前田圭介さんが建築に緑を関係付けるようになったきっかけを教えてください。

前け：まず、根底には緑が好きってのがありますね。10年ほど前に独立してすぐに設計した「house in Utsumi」(ロケーションがきれい



house in Utsumi



house in Utsumi

で、縁側のテラスから近くでみられる木の幹を残しながらつくった住宅)で、外構計画で30坪くらいですけど、広い敷地を緑に戻そうと。当時は現場監督もしていたので、気の合う尊敬している造園の番頭さんがいて、その方に緑について相談に乗ってもらいました。10~50種類ある木を見に行き、図面に一本ずつ木の名前をうっていった。普通に外構計画でひとつひとつ



©上田 宏



©上田 宏

house in Tomonoura

つ木の名前を書いていくっていうのは、仕上げ表を書くような延長上にあるっていうか、特別変わっていないかと思ってたんですが、特殊にみられたみたいです。その後の住宅からは、株立ちを入れたり、芝生だったり……アイコンになるような植え方ですかね。このときは好きだけど、まだ緑と距離がある感じでした。それから何回か繰り返しているうちに、「house in Tomonoura」の際に、内部と外部の境界にすごく興味があって、植栽で何かしたいなと。シダをとってきて、勝手に室内に土を入れて……それくらいしか出来ないのかなって思っていたときに、「森×hako」とか「atelier-bisque doll」が微妙な時間差で動き始めました。

荻：そうでしたね。

三：時間的に「森×hako」と「atelier-bisque doll」はかぶっていたんですね。

前け：半年遅れかそれくらいですね。「森×hako」では、建築と緑を近づけたかったので、距離感というのを操作しようと思って壁をレイヤー状で作り、そこに植栽をいれることで曖昧にするというか。「atelier-bisque doll」のときは、外部の延長としての内部というか、そこに育つ

植栽とかをみていただきながら植えて頂く。それが年々成長し、豊かになっていくのを見ると、竣工したときよりも今の方がいいんですよ。その頃から、建築と緑のつながりを実現できるきっかけになっていますね。

三：「森×hako」の延長線上に「atelier-bisque doll」があるんですね。

前け：「atelier-bisque doll」は、建築、庭、塀みたいなつくり方、土木、庭、建築みたいな分け方ではなく、他に考えていくことはできないかと街を歩きながら考えていて……。その都度テーマは与条件から得られると思うんですが、自分は最終的には建築とは環境をつくることだと考えています。建築だと、カチツとしたものだけを捉えやすいですけども、庭も建築の要素の一つって……。そこは、何か言葉をつくらないといけないのかなって思うんですけど……。環境っていう方がしっくりきていて……。その中に、庭も建築もかみ合うっていうか……。

三：荻野さんとは「atelier-bisque doll」が初めての仕事なんですね。最初の印象はどうでしたか。あそこまで室内に緑がある空間をあまり見た事がなかったようにも思うんですけども。

荻：僕が一番びっくりしたのは、コンタですね。GLをあそこまで角度をつけて、コンタラインをもってきたところですよ。僕は本当に嬉しかったです。というのも、もともとゴルフ場の造形から初めて、造園の仕事を行いまして……



©UID



©UID

森×hako

三：そうなんですか！

荻：土をシェイプするっていうのがやって楽しかったんで、それを建築の世界にもってこれないかなと考えていました。「atelier-bisque doll」の建つ大阪の箕面市は紅葉が綺麗ですし、それで前田さんは広島出身で紅葉まんじゅうが有名ですし、なんか縁があって紅葉を使っても嫌やって言えへんやろって(笑)

一同：(笑)

荻：もう2回目くらいには、生産農家に紅葉を見に行っ、僕のもっているイメージってこんなんですよって。何件かある生産農家の中で、すでに前から印をつけていました。この紅葉を絶対どっかで使いたって思っていたのがちょうど「atelier-bisque doll」に合うって思って、前田さんに見てもらいました。前田さんも良いねえってことで。すでに前田さんの中で完成形が出来ていたんでしょうね。

三：「atelier-bisque doll」には1本だけ元々あった木があるんですよね。

荻：あー、スモモですね。それがすごく良いですよね。

三：箕面市の住宅地の中ですか？

荻：そうですね。

三：では、街並みの中では飛び抜けた印象がありませんか？

前け：写真で見ると迫力のあるファサードですけど。実際はもっとコンパクトなんです。大きい家が多いですけど、歩いてて、塀に囲まれた圧迫感から、ちょっとホッとするというか……緑があって、花がパッと咲いてたり……開放感というか、住む人にとってだけではなくて、歩く人にとっても気持ち良い空間であってほしいなって思います。

三：クライアントは元々住んでおられた方ですか？

前け：そうです。だから、最初はセキュリティーというか、防犯上はしっかりできる家にしてくださいってお話だったんですけど……。

三：全然違うような気も……(笑)

前け：違いますけど。(笑) 最初は、コートハウスで解こうと思っていたんです。その案で1年くらい進んでいたんですが、やっぱり実施に入って何回もこの辺りを歩いたり、「森×hako」が少し出来上がってくる中で、自分の中で何かが違うんじゃないかなってのがあったと思うんですよ。どこにでもある住宅街でもプライバシーを確保しながら、外部に開けるんじゃないかなって。仕事を流す覚悟で、クライアントに再度プレゼンをさせてもらいました。最初は1年くらいコートハウスの案をみていますから、元の方がええわーって話だったんですけど、模型置いておくので1週間見てくださって言ったら、やっぱり新しいのがええなーって。大阪の人ってすごいなーって思いました。(笑)



atelier-bisque doll

一同：(笑)

三：実施も入っていて、案を変えたんですか。

前け：そうですね。

三：なるほど。「atelier-bisque doll」は写真で見ても、街並みが想像できないんですよ。ここだけで完結しているようにも見えますし。

荻：実際みると、景観がすごくいいんですよ。

三：そうなんですね。道路との高低差はどのくらいあるんですか？

前け：元々の高低差は1200mmですね。そこから掘削した土をまた盛ることで、1400mm手前くらいになってます。

荻：いい建築の条件やと思うんですけど、実際に見に行ったら、雑誌に乗っているような威圧感は全然ないですよ。

三：周りの住宅は、築30年くらいの住宅地ですか？

前け：はい。ハウスメーカーだったり……普通の住宅街ですね。

三：広島とか箕面のハウスメーカーが建っている住宅地と「house in Utsumi」が建つ田舎町と比べると、箕面はつくられた土地じゃないですか。その造成地の擁壁を解体して地形をもう一度造られたのはなぜですか？最初のコートハウスの案のときには、地形を造るような考えはなかったんですか？

前け：駐車場をとっていたので、道路から1200mm立ち上がって家を計画していました。人形作家さんなので、生徒さんの車とか5台くらいいるかなってことで。鵜呑みにして駐車場を下げていたんですよ。で、実際考えだしたときに、生徒さんって電車で来れるんじゃないかって。しっかり施主にヒアリングし直したら、やっぱり必要ないってことになって、じゃあ敷地全体で捉えていくことができるんじゃないかって考えだしたんです。

三：コートハウスの案のときは駐車場がありきだったと？

前け：そこは最近の風景というか、駐車場をつくってファサードに車が停まるっていうか、その機能が優先されるっていうか、それで顔ができていたんですよ。

三：箕面の住宅地だと特にですよ。どこの家も駐車場スペース2~3台分あって。

前け：そうですね。……なんとなく、自然を考えていたんですけど、車が並ぶと……完全に駐車場ですよ。それが顔になるっていうのが一番違和感だったのかもしれないですね。

三：前田由利さんは草屋根をずっとやられていて、また違った緑の使い方をされていると思います。

前ゆ：はい（笑）

三：草屋根との付き合いや、緑との関係はどういうスタートだったんですか？

前ゆ：この家が狭かったので、必然だったんです。阪神淡路大震災で祖母の家がつぶれてなくなったときに、両親がその跡地に家を建てていいよって言ってくれたんです。けど、隣に既に実家が建ってまして、その増築となり12坪しか建てられない。そこに設計事務所と家族4人の暮らす住宅、しかも北側斜線が厳しい。ってなると、子供部屋が屋根裏空間しかなかった。屋根裏は暑いから、屋根に草を生やせば、気化熱で涼しくなるかなっていう、それだけ（笑）



南アルプスの見える花屋根

三：それでは草屋根のスタートって自邸ですか？

前ゆ：はい。ちょうど15年前に、木造傾斜屋根緑化の事例が日本ではほとんどなくて、ダメなら普通の屋根にするかっていうくらいの覚悟でやってみた。そうじゃないと、子供たちが生息できなかった。

結果、子供たちは大きくなったんですけどね。

一同：うんうん。

前ゆ：1985年くらいから、ドイツではエコハウスといえは屋根緑化しているのは知っていたし、北欧のフィンランドとかノルウェーでは、民家にどーんと草が生えているログハウス。そういうものに興味があったのはあったんですけど、実際は必然ですね。

一同：なるほど。

前ゆ：私も小さい頃から自然が好きで、父と山を歩いたりしていたんですけど、家を建てるときに、地表という皮膚をはぎ取るでしょ。皮膚だから、そこで温熱とか湿度とか生態系の保全とか色々役割があるものを、せめて屋根に乗っけるから許してね、みたいな。(笑)

三：「御影草屋根の家」の屋根は、北側に傾斜しているの、南側の道路からはあまりファサードとして見えてこないですよ。他の例では切妻でやられることも多いんですか？

前ゆ：色んな形がありますね。切妻も多いですし、ドーム状や、S字型や片流れもあるし……色んな形でも出来ます。一回根付いてしまったら、根っこが土をホールドするので流れないですし、ズドンと地面まで突き刺さるような屋根を設計していた時もあるんですが、それでも土は崩れてこないです。ただメンテナンスは必要なので、上に登るなら3寸、15度くらいが限界ですね。うちの屋根に登る人もたいていがそこから先は行かないという角度です。

三：緑化を積極的にされる方の中には、ファサードにみせたい方もいらっしゃると思うのです。

前ゆ：もちろん。

三：でも、屋根の形にはこだわらず草屋根をされるのは、ファサードとは切り離して考えておられるのですか？

前ゆ：いえ、そんなことはない。みえる方がいいよねって思っているんですけど、喫茶店みたいに看板になるのは、見えるようにはしたいですが、屋根だからいつでも見えるとは限らない……(笑) 低い方が登り易かったりするので、地面に近い草屋根が理想ではあるんです。怖くないですね。

三：草屋根自体は、平屋、二階建て、色々ありますが、インテリアとは切り離された屋根上の空間ですよ。しかし屋根上は来客者全員が登りますよね(笑)

前ゆ：そうですね(笑) 全員ですね(笑)

前ゆ：施主さんの中には、緑に食べられちゃったような家をつくってくれてと言われる方もいます。別に屋根だから良いわけではなく、地面もベランダも結構緑にしましょうって人も多いです。地面の緑も屋根の緑も同じなんです。下から生やすわ、上からは垂れてくるわ。傾斜地に擁壁つくと見栄えが固いしコストもかかるのでそれをやめ、斜面のまま緑化をして、何年か経つとピシってできあがります。形としては、避けたいのは、屋根だけペロンで緑の絨毯が乗っているようなのは……。機能的にはいいですけど、かわいくないなって思って。(笑)

一同：なるほど、わかります。

前ゆ：森の小人が住んでいるような(笑) 景色ができて皆笑ってくれたらいいですね。だから、わざわざ軒先だけ垂れさせたりしています。

三：前田さんの草屋根は、いわゆる屋上緑化とは違って自然的で、鳥が運んできたみたいな自然な感じにもみえます。

前ゆ：そうですね。私は、自然のなるがままの感じがすごくいいなって思うんです。芝をはったけど、やっぱり枯れてくるところもあるんですけど、何か埋めてくれる。だから放っておいた

らしいなって(笑)。季節の変化もあるし、強制的に植えたりしないで、ほったらかしにしいても綺麗よって。水さえ絶やさなければね。

三：草花などは、純粹に屋根の上の楽しみってことですよ。それは庭でするのは違うんですか？

前ゆ：開放感が違うんですよ。屋根に上るとみな、子供みたいな顔になります。最近は草屋根でなくちゃって。星を見たり、花火を見たり。草屋根だと滑らないし、涼しいし、そこにずっと長い時間いたい気分になる。そういう意味ではなかなかうまく出来ている。ラピュタみたいともよく言われます。(笑) 空中に浮いた原っぱ。開放感があって違うなって思いますね。自然をより感じられます。

三：なるほど。手塚さんの「屋根の家」でも、まず来客者は応接間として屋根に通すと聞いたことがあります。機能だけではなくて、一つの特別な空間のようですね。

前ゆ：うちの屋根も登ると、ずっと上でたそがれていて。あれ？いないってこともありますね。(笑)

一同：(笑)

三：前田圭介さんは、屋根について機能面を考

えられたりしますか？

前ゆ：「森のすみか」って住宅になるんですけど、夏の日傘の機能として、そこに植栽を入れたりしてます。内部にテラスがあるんですけど、冬は暖かく過ごせるようにしたりとか、あとは香りですね。荻野さんにご提案して頂いて、コラボレートしていく中で教えてもらいながら。例えば、蝶蝶が飛んでくるライラックを入れようとか。そういう樹木から建築を展開していったり、樹木などについて投げかけることで、荻野さんの中でも変わっているのかは分かりませんが。(笑)

荻：機能っていうのは五感に喚起させるようなものであるべきだと思っているし、大げさでなくても人間の本能として、ちょっとしたゆらぎとか、風を可視化できるとか。影と光だと建築には出るんですけど、きつい光と影ってあまり好きではなくて。そこに植物がゆらいでいたりすると建築に命が宿るといふか、生きてるような感じがしますね。人工物なんだけど、人に近いってものになれば愛されるんじゃないですかね。

三：はい。同感です。

荻：実は僕の家も屋上緑化してましてね。19年前のRCの建物で、屋上に芝生をしてまして。(「富田林の家」by坂本昭・設計工房CASA)

当時、屋上緑化っていうのは、土を40センチ入れていたんですけど、実際には根は8七



富田林の家



富田林の家(屋上)



森のすみか

(©上田宏)

ンチでいけるって考えました。排水口からはあーって水が抜けてしまうと自動散水が大変なんで、むしろ反対にゆっくり排水を流すっていうピュアな屋上緑化にしました。実際、下にはパーライトをいれてですけど。

母親の棟は、実際に土だけを入れて、当時の主流だった多肉性植物やスナゴケを使い、色々実験しました。それで、やっぱりコントロールできるのは、芝生がいいなって。住宅で造園家として目指すために、自然にみせたいけど、その中でコントロールできる樹種っていうのはなんやねんっていうのを未だに考えています。

三：現在工事中の「後山山荘/聴竹居@鞆の浦」についてもお聞かせください。



後山山荘/聴竹居@鞆の浦

前け：現在、鞆の浦にある藤井厚二氏が手掛けた住宅をリノベーションしています。

荻：この住宅はすごい考えられていて、土地選びの名人であり、風をみぬく名人であり、それにちゃんと植物が効いているんです。そこの人工的につくった川の流れも風を起こしてるんちゃうかなって。冷やしてあげた風、植物の上

を通った風が、建築を通り抜けていって。これはええなーって。建築と造園のコラボレーションってこういうことやなって。

前け：本当は今くらいにはできているはずだったんですけどね。建物が遅くて建築工事の遅れで、完成は9月末ですね。造園工事は学生たちとワークショップの形式をとりました。まあ、うまくいかかわからなかったんですけど、荻野さんと相談して、施主の了解を得て……体を動かすっていうか、土方やったり……。

三：土方もやってたんですか。(笑)

前け：(笑) 自分がパイプレータ持ってやったりだとか、一輪車持って運ぶだとかで、どのくらいの重さかっていうのを、わかってモノをいうのと、わからずにモノをいうのでは、モノつくるなかで違うと思うんですよ。やっぱり、学生がそういう機会をもてるっていうのは中々ないじゃないですか。……で、聴竹居は壮大なので、そういう機会に何か仕掛けれるかなって。今の若いやつは、どれだけ根性と覚悟をもってやってくるか……。っていうのを、不安の中に見たいなってのもあって……。で、集まった学生の3分の1は女性でした。

三：そうなんですか。

前け：大丈夫かなって思ったんですけど。すごく元気な有志たちで。最初の1日目からと7日目なんかで全然違うんですよ。たくましさたるものや。

三：天気も悪かったですよ。

前け：もー、すごい大雨、土砂降り。それもまた、なんていうんですかね、自然っていうのはコントロールできないと。あんなに泥んこになったのは、幼稚園か小学生以来ぐらいだと思うですよ。長靴履いてぐちゃぐちゃみたい。そういうものが建築っていうか、我々の環境をつくっているものっていうか、改めて認識できるんじゃないかなって。それが想定していない感動をもたらしたようです。

荻 : 1週間、まるまるですからね。

前け : まあ、未来に期待できるって思いました。

荻 : そうですね。びっくりしました。前田さんの発案で、そういうワークショップをしたんですが、オープンデスクだと模型をつくるばかりで、実際に力仕事して造園ってないですよ。実際にこの木やったら、このくらいの根鉢がついて、実際に持ってみて レッカーをいれるのか、一人で運べるのかって。掘ってみて、土壌をかえて、配管を外さないとけないか判断しながら。設計事務所いったら、まずそんなことしたら怒られますもんね。普通やったらお前何しとんねんって。学生のときに実は、これをやるとかなあかんと思いますね。

前ゆ : 学生ではなくても、行きたいなって思いますよ。(笑)

一同 : (笑)

前け : 広島国際大学の先生も来ていますよ。メールで、学生じゃないんですが、参加したいんですけど……。それじゃ、先生どうぞっていうと、

本当にいいんですか?って。(笑) 建築って、一人で出来てるっていうと大間違いで。やっぱり、色んな人たちと一緒にやってるっていうのを感じてもらいたかった。愛着がうまれると、その場所とか、建築とか、庭とか、すごい大切にしてもらえる。そういうものをどういう風に受け継ぐかっていうものに、今回のワークショップはすごい意義がありました。

三 : 今回の座談会で様々な建築と緑の関係についてお聞かせいただきました。その中で感じたことは、「街」と「建築」をつなぐために緑をインターフェースとして使うことは一般的によくある手法だと思いますが、みなさんは「人」と「建築」をつなぐためのインターフェースに緑を使われていると感じました。だからこそ、人と緑の距離が近く、人と建築の距離も近くなり、長い間愛してもらえるような建築や庭になっているのだと感じます。

本日は貴重なお時間、ありがとうございました。

【Profile】

前田 圭介 [まえだ けいすけ]

UID

〒720-0082 広島県福山市木之庄町
3-10-20 森×hako2F

TEL : 084-927-0136

FAX : 084-927-0146

e-mail : uid@maeda-inc.jp

URL : http://www.maeda-inc.jp/uid/



日事連建築賞2013 国土交通大臣賞、Peanuts
第24回JIA新人賞、アトリエ・ビスクドール
日本建築学会作品選奨2013、アトリエ・ビスクドール

2012年度こども環境学会デザイン賞、Peanuts

2012年 ARCASIA (アジア建築家評議会) 建築賞ゴールドメダル (Asia)、アトリエ・ビスクドール
AR House awards 2012 COMMENDED (UK)、森のすみか/nest

2011年 第3回JIA中国建築大賞2011 大賞、森のすみか/nest

日本建築学会作品選奨2011、森×hako

2006年 Dedalo Minosse 2007/2008 国際建築賞 UNDER40 グランプリ (Italy)、ホロコースト記念館

2005年 第13回ビエンナーレ薨賞国土交通大臣賞金賞、house in Utsumi

略歴

1974年 広島県福山市生まれ

1998年 国土館大学建築学科卒業

受賞

2013年 ARCASIA (アジア建築家評議会) 建築賞ゴールドメダル (Asia)、森のすみか/nest 町-Building
第10回ベストデビュタント賞

荻野 寿也 [おぎの としや]

荻野寿也景観設計

〒587-0041 大阪府堺市美原区菅生829

TEL: 072-362-6735

FAX: 072-362-6512

e-mail: ogino-master@o-g-m.co.jp

URL: www.o-g-m.co.jp



略歴

1960年 大阪府生まれ

1988年 家業である荻野建材に入社。同時に緑化部を設立。ゴルフ場改造工事を機に、樹木・芝生を研究する。

1999年 自宅アトリエが、第10回みどりの景観賞（大阪施設緑化賞）を受賞。以降独学で造園を学ぶ。

2006年 設計部門として荻野寿也景観設計を設立。

受賞

前田圭介/UID「アトリエ・ビスクドール」「森のすみか」等

永山祐子建築設計「木屋旅館」「豊島横尾館」等

伊礼智設計室「南与野の家」「下田のゲストハウス」等

* * * * *

前田 由利 [まえだ ゆり]

一級建築士事務所 YURI DESIGN

〒658-0047 神戸市東灘区御影3-8-4

TEL: 078-846-5125

FAX: 078-846-6525

e-mail: info@yuri-d.com

URL: http://yuri-d.com



略歴

1963年 大阪府生まれ

関西大学工学部建築学科卒。兵庫県建築士事務所協会。兵庫県建築士会。芦屋市景観アドバイザー。西宮市「宮っ子のいえアドバイザー」。兵庫県ヘリテージマネージャー。神戸ブータン友好協会。

主な著書・論文

「建築とまちづくりno.407」(新建築家技術者集団) 2012april

「NA選書 屋根の実践テク」(日経BP社) 2011年6月27日

「都市緑化の最新技術と動向」(シーエムシー出版) 2011年4月

「建築ジャーナル」2011年7月号 など。

三宅 正浩 [みやけ まさひろ]

y+M design office

〒654-0161 兵庫県神戸市須磨区弥生台

3-3-7 林タオルビル1F

TEL: 078-891-7616

FAX: 078-891-7620

e-mail: ymdo@feel.ocn.ne.jp

URL: http://ymdo.net/



略歴

1974年 島根県生まれ

1993年 大阪市立大学工学部土木工学科卒業

1997年～2002年 積水化学工業株式会社近畿住宅支店

2003年～2006年 宮本佳明建築設計事務所

2006年 y+M design office共同設立

現在、摂南大学・大阪府立大学工業高等専門学校・京都芸術デザイン専門学校・TAC非常勤講師/

受賞

住まいのインテリアコーディネーションコンテスト

2008 製造産業局長賞(階段の家)/JIA優秀建築選2008(日本建築家協会)(階段の家)/エコビルド賞2008(階段の家)/GOOD DESIGN(グッドデザイン)賞 2008(階段の家)/六甲山トンネル南口再整備デザインコンペティション 入賞(GREEN HOUSE)/INAXデザインコンテスト2008 審査委員特別賞(階段の家)/サステナブル住宅賞 日本木造住宅産業協会会長賞(階段の家)/JCDデザインアワード2009 新人賞(光明台幼稚園)/キッズデザイン賞2009(光明台幼稚園)/JIA優秀建築選2009(日本建築家協会)(光明台幼稚園)/Design for Asia Award 2009 SILVER AWARD(階段の家)/第1回JIA中国建築大賞 優秀賞(階段の家)/2009年 電化住宅建築作品コンテスト 最優秀賞(階段の家)/作品選集2010 入選(日本建築学会)(階段の家)/平成22年度 日事連建築賞 奨励賞(階段の家)/第55回 神奈川建築コンクール 優秀賞(出窓の家)/第9回くすのき建築文化賞 問道賞(みちいえ)/SDレビュー2011入選(ARBOR)/Design for Asia Award 2011 Bronze Award(スミキリノイエ)/作品選集2012 入選(日本建築学会)(出窓の家)/JIA優秀建築選2009(日本建築家協会)(北庭の家)/INAXデザインコンテスト2011 審査委員特別賞(挟持の間)/2011年 電化住宅建築作品コンテスト 優秀賞(滑の家)/第10回くすのき建築文化賞(スミキリノイエ)/大阪ガス住宅設計アワード 特別賞(挟持の間)/

実験集合住宅「NEXT21」における第4フェーズ居住実験

大阪ガス株式会社 リビング開発部 技術企画チーム 目 堅 智 久

1. はじめに

NEXT21とは、「ゆとりある生活と省エネルギー・環境保全の両立」をテーマに、近未来の都市型住宅のあり方を提案することを目的として、大阪ガス株式会社が、1993年10月に建設した実験集合住宅である。

これまでもその時々時代に時代を反映したテーマと実験課題を設定し、建築（住まい・住まい方）や設備（エネルギーシステム）に関する開発技術や提案を広く公開するとともに新たな居住空間に大阪ガスの社員とその家族が入居し、15年間（3フェーズ）の実証実験を実施してきた。この度、第4フェーズ居住実験を後述コンセプト、実験項目にて、2013年6月より開始した。

での都市型集合住宅を前提として、「環境にやさしい心豊かな暮らし」を追求する。そのために、「人と自然の関係性の再構築」「人と人のつながりの創出」「省エネ・スマートな暮らしの実現」を具現化する「住まい・住まい方」「エネルギーシステム」の居住実験に取り組む。



図1. 第4フェーズコンセプト



写真1. NEXT21外観

2. 第4フェーズ居住実験のコンセプト

少子高齢化の進行や深刻化する環境問題、東日本大震災を経て、人・自然・エネルギー、そして住まいの関係性を改めて見つめ直すことが重要と考え、第4フェーズ居住実験では、2020年頃ま

3. 「住まい・住まい方」の居住実験

「人と自然の関係性の再構築」

これまでの実験の中でシンボルとも言える地上から屋上まで積み重ねられた植栽とそれによって構成される緑の回廊を再整備した。



写真2. 再整備した緑の回廊

また、屋上の半分を居住者が積極的に育てる菜園や花壇とし、もう半分を専門家の管理による自然を感じる緑地として復元し、居住者と緑地との心地よい距離感などを再度確認したい。

さらに、緑のつくる木陰が日射を和らげ、コンクリート躯体の蓄熱を抑え、熱環境の改善につながるだけでなく、人に安らぎを与え、NEXT21を訪れる野鳥などの休息の場になるなど、住戸と外部空間にある緑とのつながりを実験の中で考える。

「人と人とのつながりの創出」

住戸と共用部、住棟と地域の間で中間的な領域（＝中間領域）を設け、住戸（私）を共用部（共）に、住棟（共）を地域（公）に開くことで居住者同士、居住者と周辺住民との関係性（つながり）の創出を目指す。



図2. 中間領域のイメージ

具体的には、住戸の一部を子供たちに開放できる住戸（305住戸：余白に棲む家）と料理教室で人が交流する住戸（403住戸：しなやかな家）として、下記設定を実現する形で建設した。

また、共用部には、居住者同士、居住者と地域住民が交流できるスペースを設けた。

305住戸	自宅で放課後クラブに類する活動をする妻と夫、子供が暮らす家を想定、自宅の中にありながら、空間と親和性のある空間に子供たちが集まり、居場所を見つけ出す。
403住戸	定年退職した夫と元料理教室の妻が暮らす家を想定し、自宅の中に料理教室を開催できるキッチンと外部空間とつながる食事室のある住戸に人々が訪れ、交流する。



写真3. 305住戸：余白に棲む家



写真4. 403住戸：しなやかな家

4. エネルギーシステムの居住実験

今回の居住実験ではコージェネレーションシステムを集合住宅の特性に合わせて効果的に活用する。

省エネルギーの更なる追求と東日本大震災に顕在化したエネルギー供給の課題（分散型、自立、節電、ピークカット等）に対応するスマートなシステム・技術の居住実験を行う。図3中A～Eのテーマについて次に説明する。

A：SOFC住戸分散設置とエネルギー融通

SOFCを各住戸に分散設置し、電気融通と熱融通の実験を展開する。また、次世代型SOFCプロトタイプ機（発電効率55%）の運転試験も実施する。

◇発電電力の住戸間融通実験

4階各住戸のSOFCを可能な限りエネルギー効率の高い定格出力で運転し、発電余剰電力を融通もしくは蓄電池に充電し利用する。また、余剰排熱は共用部のデシカント空調（試作機）に利用し、住棟内の空調省エネに寄与する。

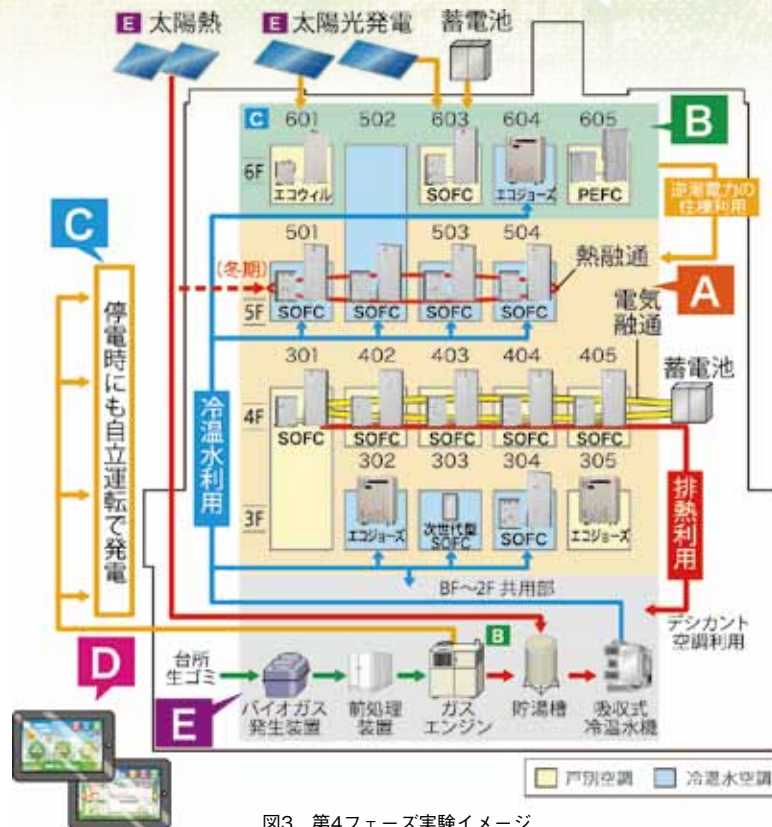


図3. 第4フェーズ実験イメージ

◇太陽熱と組み合わせた熱の有効利用実験

SOFCは発電効率の高い分、排熱回収効率が比較的小さく、冬季に熱不足の可能性がある。そのため5階住戸のSOFCでは、屋上に設置した太陽熱パネルからの熱を利用して給湯の省エネ化する。なお、排熱が余る場合には住戸間で融通する。

B：デマンドレスポンス対応と逆潮運転

6階住戸では、購入電力削減を目的とした電力消費パターンを変化させるデマンドレスポンス(DR)の実験を行う。その際、居住者へHEMSを

通じて節電を促すだけでなく、家庭用コージェネレーションの発電量を自動的に定格出力まで向上させ、購入電力を削減する。また、逆潮(分散型電源の発電電力が商用電力系統に流れる)が可能な場合には、商用電力系統の負荷低減に貢献できる(図4)。

また、6階住戸の家庭用コージェネレーションシステムを逆潮可能な条件で運転制御し、省エネポテンシャルを最大化する実験を展開する(図5)。逆潮が可能となれば、家庭用コージェネレーションをフルに活用することができ、ピークカットや電源の分散化によるリスク低減など家庭内だけでなく社会への貢献も期待できる。

なお、今回の実験では逆潮を想定したもので、

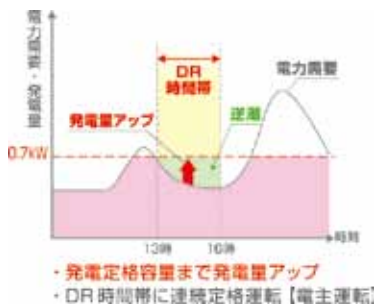


図4. デマンドレスポンス対応運転 (SOFCの場合)

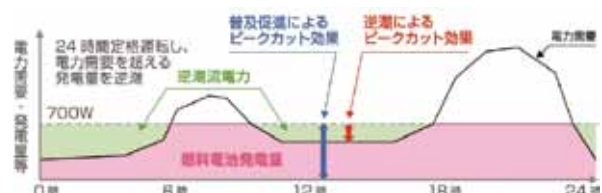


図5. 逆潮対応運転 (SOFCの場合)

発電電力を商用電力系統に流すのではなく、6階住戸以外の住棟内で利用する。

C：停電時自立システムの構築

ガスコージェネレーションシステムを活用し、NEXT21では停電時にガス供給があれば、自立発電できるシステムを構築する(図6)。停電時に常時共用設備で利用している停電対応ガスエンジンコージェネレーション(ジェネライト31kW)が自立運転し、各住戸へも電力供給することで、3階から5階のSOFCは自立運転機能に頼らずとも、継続運転する。

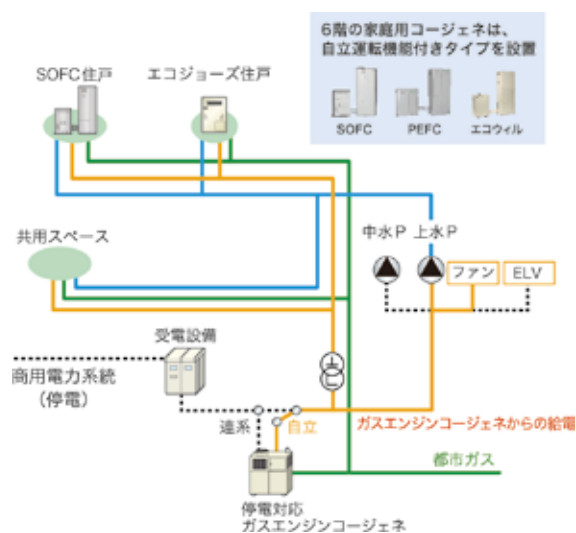


図6. 停電時自立運転システムイメージ

D：HEMSの導入

居住者の省エネ意識を高めるために全住戸にタブレット型端末のHEMSを導入し、電気、ガス、水道を見える化し、エネルギー融通やデマンドレスポンスなどの情報も提供する。また、端末を見る機会の増加や居住者間の情報交換、交流にも役立つようコミュニティサービスのメニューも搭載



図7. HEMSタブレット画面イメージ

している。

特に601住戸(“き”づきの家)では、機器操作機能、エネルギーの個別計測機能、新しいエネルギーの見える化アプリケーションを導入した次世代型HEMSを設置し、本当に魅力的な商用化につながる機能は何かを検証する。

E：再生可能エネルギーとの組み合わせ

再生可能エネルギーの活用は省エネルギーを図る上で重要な課題であり、集合住宅のガスシステムと効果的に組み合わせる必要がある。太陽光をはじめ太陽熱、バイオガスの活用を実施している。ここでは、太陽熱とバイオガスの共用部での利用について触れる。太陽熱については屋上に設置した真空管式集熱パネル(30㎡)とガスエンジンコージェネレーションの排熱を組み合わせ、住棟セントラル空調の省エネ化を図る。バイオガスについては、各住戸の台所生ごみを集約し、メタンを主成分とするバイオガスを発生させ、都市ガスと混合してガスエンジンコージェネレーションの燃料として有効活用する。

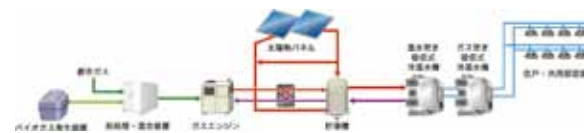


図8. 太陽熱・バイオガスの活用

5. 最後に

今回紹介したNEXT21に導入したエネルギーシステムは、集合住宅だけでなく、戸建住戸での適用や都市のエネルギーシステムへの展開の可能性のある有意義な居住実験と考えている。

また、大規模な緑化(自然)、外部空間とのつながりを活かした住まい方も少ないエネルギー消費で快適な住環境を提供する重要な要素である。NEXT21第4フェーズでは、単なるエネルギーシステムの実験に留まらず、これからの住宅・エネルギーのあるべき姿はどのようなものか考え、2020年頃までの都市型集合住宅を前提として、「環境にやさしい心豊かな暮らし」を追求したい。

事業報告(定時総会・講習会・研修見学会)

・平成25年 新年互礼会

日 時：平成25年1月10日(木)

場 所：第一楼

参加者：正会員31名 賛助会員21名



・第30回親睦ボウリング大会

日 時：平成25年2月2日(土)

場 所：ラウンドワン三宮駅前店

内 容：会員並びに賛助会員との親睦

参加者：正会員41名 賛助会員11名 ゲスト2名



・吉野石膏セミナー

日 時：平成25年1月16日(水)

場 所：吉野石膏研修センター

参加者：10名

・女性建築士セミナー

日 時：平成25年2月15日(金)

場 所：すまいるネット5階セミナールーム

参加者：来場者17名

・第2回法規講習会(建築士会共催)

日 時：平成25年1月31日(木)

場 所：兵庫県私学会館4階大ホール

- 内 容：
- ・兵庫運河周辺、都市景観形成地区指定について
 - ・既存不適格建築物に係る規制の合理化(構造)について
 - ・昇降機関係に係る法規制の動向について
 - ・都市の低炭素化の促進に関する法律の施行について
 - ・建築計画概要書の記載方法等について
 - ・消防法の最近の動向について

参加者：26名



・友生支援学校現場見学会

日 時：平成25年3月4日(月)

場 所：友生支援学校

参加者：20名

・平成24年度 第2回役員総会

日 時：平成25年4月5日(金)

総 会 17:30~18:45

懇親会 18:45~20:30

場 所：ホテルモントレ神戸

参加者：32名



・平成25年度 第1回耐震診断委員講習会

日 時：平成25年4月20日（土）

場 所：すまいるネット5階セミナールーム

・第181回KJ会（ゴルフ同好会）開催

日 時：平成25年4月24日（水）

場 所：城山ゴルフクラブ

参加者：13名（途中中断）

・第54回定時総会・懇親会

日 時：平成25年4月26日（金）

総 会 14：30～15：55

場 所：ラッセホール5階サンフラワー

参加者：36名

・第1回幹事会+第1回役員総会

日 時：平成25年6月4日（火）

総 会 17：30～18：45

懇親会 18：45～20：30

場 所：ホテルモントレ神戸

参加者：22名



・第182回KJ会（ゴルフ同好会）開催

日 時：平成25年6月20日（木）

場 所：東条の森CC

参加者：10名

・第41回KM会（麻雀同好会）開催

日 時：平成25年6月29日（土）

場 所：平和荘

参加者：8名

・第5回建築士事務所キャンペーン住宅無料相談会

日 時：平成25年8月3日（土）

場 所：水道筋商店街みずほ銀行 灘支店前
（神戸市灘区水道筋3丁目）

参加者：6名



・第1回法規講習会（建築士会神戸支部共催）

日 時：平成25年9月2日（月）

場 所：兵庫県私学会館

参加者：25名

・一般社団法人 愛媛県建築士事務所協会
青年部との研修交流会

日 時：平成25年9月7日（土）

場 所：「御影草屋根の家」(神戸市東灘区)見学
懇親会「神戸東急イン」3Fボールルーム
旧居留地の街歩き
瀬戸本淳建築研究室(神戸郵船ビル3F)
見学。

参加者：兵庫会14名 愛媛会16名



事業報告(定時総会・講習会・研修見学会)

・女性建築士による建築相談会(1)

日 時：平成25年9月10日(火)

場 所：すまいるネット5階セミナールーム

場 所：四国、香川・直島周辺

瀬戸内国際芸術祭

参加者：16名

・女性建築士による建築相談会(2)

日 時：平成25年9月24日(火)

場 所：すまいるネット5階セミナールーム



・大阪ガス(株)「NEXT21」見学会

日 時：平成25年9月27日(金)

場 所：大阪ガス(株) 実験集合住宅「NEXT21」

参加者：8名



・女性建築士による建築相談会(3)

日 時：平成25年10月8日(火)

場 所：すまいるネット5階セミナールーム



・耐震診断・改修設計促進キャンペーン (すまいるネット共催)

日 時：平成25年10月12日(土)

場 所：第17回灘ふれあい秋まつり会場
(灘区、都賀川公園・区民センター)

参加者：3名

・平成25年度建築士事務所キャンペーン

日 時：平成25年10月19日(土)

場 所：須磨区板宿本通り商店街

参加者：35名



・第183回KJ会(ゴルフ同好会)開催

日 時：平成25年10月3日(木)

場 所：東条湖カントリークラブ

参加者：10名

・神戸支部一泊研修旅行in直島/こんぴら温泉

日 時：平成25年10月6日(日)~7日(月)

・女性建築士による建築相談会(4)

日 時：平成25年10月22日(火)

場 所：すまいるネット5階セミナールーム

・第42回KM会(麻雀同好会)開催

日 時：平成25年10月26日(土)

場 所：平和荘

参加者：9名

・大阪近代建築を巡るタウンウォーク

日 時：平成25年11月8日(金)

場 所：大阪北浜界限散策

参加者：9名



・日帰り研修(賛助会企画)

日 時：平成25年11月21日(木)

場 所：姫路城大屋根修復現場

参加者：21名



・マンション管理組合向け大規模修繕工事セミナー開催(すまいるネット共催)

日 時：平成25年11月23日(土)

場 所：すまいるネット5階セミナールーム

参加者：17名

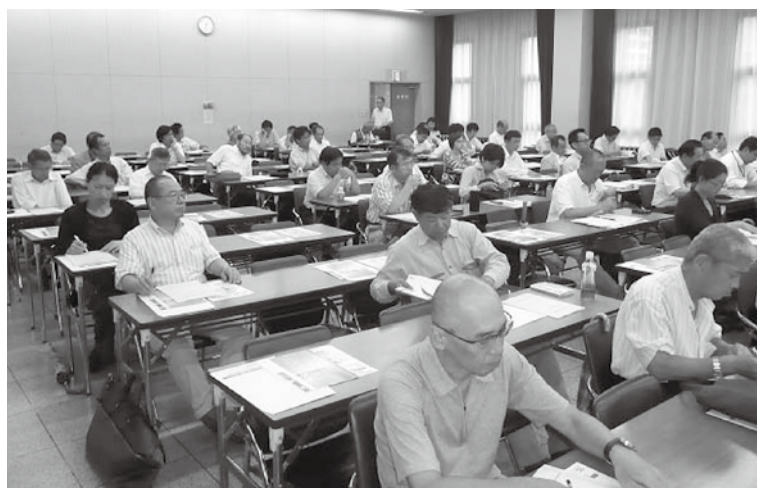


平成25年度第1回法規講習会レポート

研修部 吉田多雄

- 日時：平成25年9月2日（月） 13：30～16：30
- 場所：兵庫県私学会館4階大ホール
（神戸市中央区北長狭通4丁目3-13）
- 講習内容：①「都市景観に関する事前協議制度の施行について」
②「建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正について」
③「老朽家屋対策について」
④「建築行政に関する最近の動向について」
⑤「消防法の最近の動向について」
- 出席者：事務所協会神戸支部25名、建築士会42名、合計67名

講習会の様子



大阪ガス(株)「NEXT21」見学会

研修部 吉田多雄

- 日 時：平成25年9月27日（金） 15：00～17：00
- 場 所：大阪ガス株式会社 実験集合住宅「NEXT21」
（大阪市天王寺区清水谷町6-16）
- 講習内容：Ⅰ 第四フェーズ（環境に優しい心豊かな暮らし）の概要説明
Ⅱ 家庭用コージェネレーションシステムの解説
Ⅲ スケルトン・インフィル住宅・屋上緑化の見学
- 出席者：建築士事務所協会 神戸支部 8名

講習会の様子



大阪ガス実験集合住宅 NEXT21

谷町6丁目の駅から東へ徒歩約5分。
都会の中にあって緑に包まれた暖かな雰囲気の建物が
見えてきた。



屋上緑化

大阪城と天王寺動物園のほぼ中間地点にあり、小鳥の
休憩場となっている。
緑が建物を一層映えさせていた。



家庭用コージェネレーションシステム解説

エネファームなどのシステムの解説を受けメリットを
理解できた。今後、さらに発電率が高く、省スペース
の製品を開発している。



スケルトン・インフィル住宅

床下配管スペースが大きく取られており、大きな間取り
変更にも対応できる造りとなっていた。

(一社)愛媛県建築士事務所協会青年部との研修交流会

広報部 前田由利

- 日時：平成25年9月7日(土) 11:00~15:30
- 場所：午前「御影草屋根の家」(神戸市東灘区)見学
午後 懇親会「神戸東急イン」3Fボールルーム(神戸市中央区)
旧居留地の街歩き
瀬戸本淳建築研究室(神戸郵船ビル3F)見学。
- 出席者：愛媛会16名 神戸支部14名



全員写真

(一社)愛媛県建築士事務所協会青年部から声をかけていただき、このたび初めて交流会を行うことになりました。

愛媛会では、メンバーの固定化、高齢化しがちの会を活性化し、次代の会員増強を目的として青

年部会が発足し、まだ日が浅いようですが、毎月のように勉強会を行うなど、活発に活動されているということです。

神戸支部は青年部がないのですが、「気持ちは青年」というメンバーが集まりました。



御影草屋根の家の草屋根見学



御影草屋根の家の居間にて説明

御影草屋根の家では、ちょうど雨が降る前で、順番に草屋根に上っていただき、2階のダイニングルームで、趣旨説明をさせていただきました。

そのあと、愛媛会は専用バスで、神戸チームは、タクシーに乗り合わせて、懇親会場へ向かいました。

懇親会場は、10名ずつのテーブルそれぞれに愛媛会、神戸会がくじ引きで交互に座るように着席。田中支部長からあいさつと愛媛会へのお土産のお菓子のお渡しに続き、瀬戸本会員の乾杯の発声で開会。そのあと和やかな懇親会となりました。



神戸東急イン懇親会風景

愛媛会青年部部長の武知さんと私で、司会進行しながら、全員1分ずつの自己紹介などをしましたがそれぞれの個性が発見でき楽しかったです。愛媛会は、設計事務所所長以外に、2代目や建材関係など、職種はさまざま。

懇親会場を出るとあいにくの雨でしたが予定と



神戸市役所1号館24階展望室



旧居留地街歩き風景

おり、街歩きをしました。神戸市役所1号館24階展望ルームから、旧居留地へ。「高砂ビル」「神戸銀行協会」「神戸市立博物館」「旧居留地15番館」「チャータードビル」「神港ビルディング」「商船三井ビルディング」「新海岸ビル」「同和火災ビル」「日本毛織ビル」「旧居留地38番館」「銀泉神戸ビル」を外から見ました。

最後に、居留地の南西の端にある神戸郵船ビルに到着。その3階にある瀬戸本淳建築研究室を見学させていただきました。建物も素敵ですが、居留地と港が一望できるすてきな所長室でした。



瀬戸本淳建築研究室見学風景

次回はぜひ愛媛にという声をかけていただきました。

「青年部」の意義も理解でき、参考になり楽しい交流ができました。

神戸支部一泊研修旅行 ④ 直島/こんぴら温泉

(有)竹久建築設計事務所 平川 宏 行

- 日 時：平成25年10月6日(日)～7日
- 場 所：四国、香川・直島周辺、瀬戸内国際芸術祭
- 参加者：16名

10月6日(日) 快晴の中、午前7時30分JR神戸駅を出発 45人乗り観光バスへ定員の半数でゆったりとした雰囲気でしたが、2日間ともこの夏特有の暑さで朝からビールを飲んでも発汗の為少しも酔わないそんな旅行でした、わたしは直島に初めて渡りましたが地中海美術館の混雑は都会並みで待ち時間が長く休日は避けたほうが良いと思うほどで美術鑑賞以前に人に酔いそうでした。下記私の雑感。

■宇野港 機関車ワラアート号

作者 こへび隊+こえび隊

世代・ジャンル・地域を超えた自主的な集まりで規則もリーダーもなく活動している新潟と東京を拠点に活動している集まりと紹介されていましたが活動そのものが作品のようです。この作品は9/22～10/5にかけて稲刈りから現地でのワラアート作成迄を私たちの見学した前日まで作業をしていたそうです、そういえば当日も少し作業している人がいたような気がします。鉄道連絡船の昭和の時代を柔らかく表現してつい触りたくなりました。



■直島 連絡船待合室

設計者 妹島和世+西沢立衛/SANAA

水平力を負担する鏡面のリブパネルをランダムに配置、屋根を細い鉄柱で支持、スッキリした印象で景色の邪魔をしない印象。



■直島 カレーショップ

盛付けを少し移動させたら宇高連絡船の航路周辺地図になりました。



■かぼちゃ

作者 草間弥生

作者にパワーを貰うようで
なんだか楽しい！

■ベネッセハウスミュージアム

建物設計 安藤忠雄

打ち放し目地に生えた草

見学の終盤になり2階から1階フロントへ
カーブした階段を降りる際吹き抜け側壁の目
地に草らしきものがよく見るとFIX硝子スク
リーンの方立のシールにも同様の草らしきも
のを発見、屋内のサッシ周りに漏水でもして
苔でも生えたのかワイワイ言いながらフロ
ントで館員の方に聞くと立派な木製の塗装を施
した作品と聞き一同 “エエッ” 再度見学に
引返し んん……………作者を聞き損ねる。
まさかアンドウ？



■こんびら温泉 懇親会

紅梅亭にて。阪神支部才本謙二支部長も一緒に



■金毘羅参り 山門見返り讃岐富士

朝食後アタック

参道入口 7:33 本宮山門 8:05



女性建築士セミナーについて

女性建築士委員会 前田由利

女性建築士委員会の初めての活動として、神戸支部所属の3名の女性建築士が、市民向けセミナーを行いました。



有賀芳子講師-「住宅における自然エネルギー利用について」

1. セミナー開催概要

- テーマ 「環境とデザイン…女性建築士とともに環境に優しく自然力を利用したこれからの家づくりを考える」
- 開催日時
平成25年2月15日(金) 10:00~12:00
- 開催場所 神戸市すまいの安心支援センター
すまいるネット5階セミナールーム
- 内容
有賀芳子、前田さえ、前田由利各建築士の講義と、質疑応答。

2. 参加者アンケート結果



前田さえ講師-「自然力をプランニングに活かす」

- 参加人数 18名(男性10名、女性7名)
- 年齢
70代以上が4名で一番多く、次に20代が3名、30代、40代、50代が各2名。
- 内容
「非常にわかりやすかった」が46%、「興味深い内容だった」が62%、「わかりにくかった」「よくわからなかった」は0%と高評価でした。
- 集客
「すまいるネットからのお知らせ」が一番多かった。
- 感想
「本やインターネットでは伝わらないような話が聞けて勉強になった」(30代女性)



前田由利講師-「人と環境に負荷の少ない家づくり」

「個人住宅に草屋根緑化、しかも意図的にやっているケースをはじめて知りました。いろんな意味で省エネ、環境問題を考えるきっかけになりました」(30代男性)

3. 反省点と今後の課題

このテーマは、比較的一般市民の興味のあるテーマであったように思いました。

そして、日頃女性建築士として活動している中での取り組み・伝えたい情報の告知ができたと思います。引き続き、いろいろな切り口でセミナー活動を続けることによって、一般の市民が知りたい情報を提供できればと思います。

女性建築士による建築相談会について

女性建築士委員会 前田由利

女性建築士委員会では、昨年度のセミナーに引き続き、本会の活性化と認知度向上をめざし、今年是一般市民に向けて、下記要領にて相談会を行いました。



記

1. 相談会開催概要

- テーマ 「女性建築士による建築相談会」
【簡単にできるプチリフォーム、理想のキッチンづくり、照明で変わる部屋の表情、ビックリ収納技大公開等】
- 開催日時
平成25年9月10日(火) 10:00～14:00
平成25年9月24日(火) 10:00～14:00
平成25年10月8日(火) 10:00～14:00
平成25年10月22日(火) 10:00～14:00
- 開催場所
神戸市すまいの安心支援センター
すまいるネット5階セミナールーム
- 相談員 前田さえ 前田由利

2. 相談会実施報告

- 相談来場者総数 7名
60代が3名と一番多く、続いて50代2名、20代30代が各1名ずつで、ほとんどがサンケイリビングからの集客でしたが、通りがかり、インターネットという方も1名ずついました。
住まいで気になることは、「劣化」が3、「防

犯・耐震・防災」と「リフォーム」がそれぞれ2、その他「シロアリ」「バリアフリー」「雨漏り」が各1でした。

● アンケート(感想)

	感想
30代女性	女性の方で話しやすかった。トイレ・風呂のリフォームについて相談ができ色々なデザインがある事がわかって良かった。
60代女性	お時間もお話も親味になって頂きありがとうございました。
50代男性	ていねいな説明でよくわかった。参考になりました。
50代女性	細かい所までいろいろと教えて頂いてようやくイメージも広がりうれしく思います。ありがとうございました。
20代男性	本日相談会にこさせていただき、カーテンの知識などあまりなかったのですがピーコックカーテン、ブラインドなどの使い方を知り、一度家内とも相談しようと思います。特にブラインドのタテ型が自宅には合いそうです。次回があるのなら、また他のインテリアなどの相談をしたいと思います。
60代男性	LDKの暖房が2階にぬける。的確なアドバイスを頂いた。よかった。
60代女性	短時間の間に親身に相談できて良かったです。時間があればもう少し詳しくお話を伺いたいと思います。ありがとうございました。

3. 反省点と今後の課題

相談者が少な目であったので、もう少し効率の良い魅力的なPR方法がないか、探るとともに、十分な期間をもって事前に告知ができればと思いました。

また、相談者が資料を持参されていればより的確なアドバイスができたように思い、次回は、告知の時に資料を持参していただくよう呼びかけをするほうが良いと思いました。

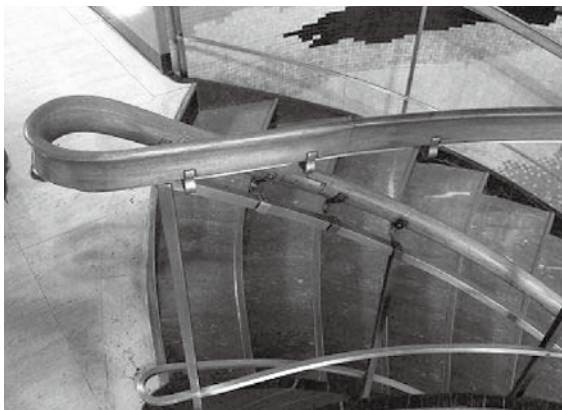
アンケートより、来られた方にはある程度満足いただけたようなので、今後も、改善しながらより良い活動を進めてゆければと思います。

大阪近代建築を巡るタウンウォーク

研修部 戎 眞 弓

- 日 時：平成25年11月8日（金） 13：30～16：30
- 場 所：地下鉄御堂筋線 本町駅出口①集合
- 講習内容：Ⅰ 近代建築の外観からの見学
Ⅱ ものづくりの良さを体感
Ⅲ 綿業会館など、内部見学
- 出席者：建築士事務所協会 神戸支部 9名

講習会の様子



輸出繊維会館（1960年、村野藤吾）

南側入り口の地下につながる階段。
木製の手摺のデザインが細部にまでこだわりがある事が伝わってきた。



綿業会館（1931年、渡辺 節）

本館3階談話室。外観タイルが絶品の建物であるが、ガイドによる内部説明もあり、近代建築の良さを再確認できた。



船場ビルディング（1924年、村上徹一）

雑貨店やギャラリーなどが入居している雑居ビルであるが、中庭が非常に良い雰囲気を演出していた。



大阪倶楽部（1924年、安井武雄）

テラコッタの装飾が印象に残った。
質感の高い建築物であった。
参加者9名と記念撮影。

日帰り研修

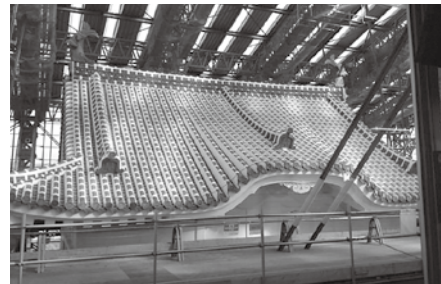
賛助会代表幹事 北村 憲司

- 日 時：平成25年11月21日（木）
- 場 所：姫路城改修現場、大阪ガス(株)DILIPA姫路、エスケー化研(株) 兵庫工場

何年かぶりの日帰り研修を初の試みとして賛助会主催で行いました。心配した天候も見事な快晴に恵まれ絶好の研修日和となりました。三ヶ所の見学と少々盛り沢山の計画をした為に7：30集合とタイトなスケジュールにも拘わらず21名の参加を頂きました。慣れない事が多く、不備な点がありましたが無事に研修を終えることが出来ました。ご協力頂いた皆様、ご参加頂いた皆様、本当に有難うございました。次回はより充実した内容を企画いたしますのでご参加頂けますようお願いいたします。

■姫路城大天守修理見学

株山本設計さんからの事前依頼で鹿島建設(株)現場監督に案内して頂きました。工事開始当初からの苦労話などをご説明頂き、臨場感のある見学が出来ました。



■大阪ガス(株) DILIPA姫路

最新のガス機器（Siセンサーコンロ、ダブル発電、ミストサウナ、ヌックカワック等）のデモを実演頂き、昼食時にはSiセンサーコンロで焼いたパンケーキの試食をしました。



■エスケー化研(株) 兵庫工場

工場見学では色調や色板サンプルの現場を見ることが出来、製造現場の苦労を目の当たりにしました。そのあとのセミナーでは塗料以外の内装仕上材の紹介を頂きました。



フォトコンテスト

前田信行一級建築士事務所 前田 信行

さて10月6日～7日に行われました研修旅行中での事。瀬戸内国際芸術祭2013の研修の最中、芸術心を刺激された皆様と軽い乗りで「研修旅行と私の芸術写真」と題して急遽、有志でフォトコンテストを行う事となりました。コンテスト最終応募者数は10名でした。一人3点以内と決めていましたので合計26作品となりました。さすがに建築士や建築関係の仕事に携わっている方々です。普段はただの酒好きのおじさんだと思っていた方々(失礼)も勝負処での芸術的な感性は鋭い物があると感銘いたしました。審査は当会の賛助会員でもある大阪ガス(株)兵庫リビング営業部の平井保夫氏にいろいろとお忙しいところ無理を承知でお願いしました。平井氏はプロ顔負けの腕前の持ち主で数々の写真コンテストにおいて多数の賞も受賞されています。平井氏自身は今回、研修旅行への参加はされませんが、公平を期す為、一定の応募要領を決め、一旦集めた作品を無記名にし、要領に沿って審査して頂きました。入賞者の発表会は岡田 徹氏の事務所をお借りして12月19日に行いました。

また、この度は入賞者以外の作品にも平井氏にはひとつひとつ丁寧に講評を頂きとても感謝しております。終了後は懇親会を開催し、いろいろと意見交換会も行いました。

今回は有志でこのような行事を行いました。共通の話題も出来、親睦を高めるのに楽しい企画となったと思います。

■フォトコンテスト結果は以下のとおり

- | | | |
|-------|----------------|----------|
| ★最優秀賞 | 株式会社 創建設計事務所 | 佐川 圭 |
| ★優秀賞 | TETSU: 徹建設計事務所 | 岡田 徹(2点) |
| ★入賞 | 株式会社 アーキノバ設計工房 | 柏本 保 |
| | 前田信行一級建築士事務所 | 前田 信行 |
| | 北風建築設計事務所 | 北風 雅頌 |
| | (敬称略) | |



コンテスト入賞者発表と審査講評の様子

《総評》事務所協会神戸支部の第1回? フォトコンテストの審査員をさせていただき誠にありがとうございます。応募点数は少ないながらも、力作をたくさん拝見することができ非常に喜んでます。皆様このようなコンテストに応募するというか、作品を意識することにも慣れておられなかったと思います。ご苦労されたのではないのでしょうか?

今回の審査では、写真のスキルにかなり差がありましたが、技術的な面だけでなく着想、見る側に伝わる楽しさも考慮して審査させていただきました。

作品ごとの講評で、こうすればもっと良くなるのにと感じる事が多く厳しい内容になっているかもしれませんがご容赦ください。

(平井保夫)

★★★★最優秀賞★★★★

題名『かいだんのだんかいの世代のおやじ達』(佐川 圭)

《撮影主旨》 設計業界を、そして建築士事務所協会神戸支部を支えてこられた皆さん。世代は違いますが目指す方向は同じ! 益々のご活躍を。

《講評》 最優秀賞と優秀賞の選考を迷いました。写真には、いくつかの大事な要素があると思います。

●シャッターチャンス ●着想(感動) ●表現するスキル
このなかでも、着想に感心してこの作品を最優秀賞に選びました。写真を敢えて斜めにするというのは、リスクがあります。ただ、“だんかいの世代のおやじ達”が同じ方向に斜めを向いているという点。斜めにすることで方向性を浮かび上がらせています。また頭の位置が同じというか、手すり、階段と見事に平行になっている点。一連の流れがほぼ水平になっている点。同じような身長モデルを選んだこと。それでいて、モデルがそれぞれ個性的であること。以上を意識的に表現されたのだとすれば、素晴らしい感性です。写真のスキル以上の何かを感じました。



題名『誰か私を呼んだ?』(岡田 徹)



《講評》最優秀賞と優秀賞の選考を迷った作品です。カラーではなくモノクロでの表現にセンスを感じます。左上の不機嫌? そうにこちらを向いているお地蔵さんと右下の前を向いているお地蔵さんを写真のセオリーどおりに対比させると同時に、他のお地蔵さんを配置することで、いい作品に仕上がっています。写真のスキルは高いと思います。当初はこちらを最優秀賞にしようかと思いました。

ここまでスキルがあるなら、対角線上に配置したお地蔵さんの両方にピントを合わせ、それ以外のお地蔵さんは、すこしぼかしたら表現が明確になったように思います。それに、モノクロ写真である以上、もう少しコントラストを強くしてメリハリをつける。それができていたら、この作品を最優秀賞に選んだと思います。

題名『2013年10月6日、15:08:30 ~瀬戸は日暮れて』(岡田 徹)



《講評》“誰か私を呼んだ?”の作品と同じ作者と思いますが、写真そのもののスキルが高く安心して見ていられます。空と海の比率。小船と島をシルエットにして海面の反射光の中に浮かび上がらせています。水平線の水平もきちり出ていますし、完成度が高いです。遠くに橋がほんやり浮かんでいることもおしゃれです。

★★優秀賞★★

題名『かえる アート』(柏本 保)



《撮影主旨》直島町の宮浦港から少し離れた街角のデッキに置かれた、「かえるアート」です。以前偶然に見たNHKの番組“鶴瓶の家族に乾杯”で取り上げられていた同じ場面に偶然出くわし、かわいいので思わず撮影しました。写真のアングルが気に入ったので、後日絵をしたためました。お気に入りのスケッチです。(上図参照)



《講評》写真としてというより、スケッチをする前提で日ごろから撮影しておられるように感じます。後日したためられたスケッチの完成度が高く、スケッチとペアで入賞に選びました。スケッチと同じ構図で撮影できれば素晴らしい作品になります。

題名『秋は来てます』(前田 信行)



《撮影主旨》もう10月だと言うのにこの日は30℃を超える夏の様な気温。しかし、秋は確実に来ているのです。

《講評》旅のスナップ写真として、見ているこちらまでほんわかした気持ちになごましていただきました。派手な写真ではないですが、作者の優しい人柄が伝わりますし、作者も暑い時期ながら、すずき? を見て秋を感じた小さな感動が写真から伝わります。背景の比率、構図も良いと思います。

題名『無題』(北風 雅頌)



《講評》無機質なコンクリート打ちっばなしの建物の中に光るネオンサインでしようか? 床の光の反射が、無機質さを更に引き立てています。人を写しこむことがなかったのも、建物の特徴を表現していると思います。

欲を言えば、ネオンサインを少し上下どちらかにずらして、床が建物の高さかどちらかを強調すれば更によかったと思います。

十分に作品と言うべきレベルの写真ですので、これからは日付を消して撮影されることを望みます。日付は作品には不要です。

★入賞★

● 灘区住宅無料相談会 ●

第5回建築士事務所キャンペーン報告

日時：平成25年8月3日（土） 10：00～15：00

場所：水道筋商店街みずほ銀行 灘支店前（神戸市灘区水道筋3丁目）

灘区地区別協議会担当 成瀬 秀一

主催 （一社）兵庫県建築士事務所協会・神戸支部・兵庫県土建一般労働組合灘支部

後援 灘区役所・灘消防署・灘区社会福祉協議会・水道筋商店街協同組合・
神戸市すまいの安心支援センター 神戸市社会福祉協議会

水道筋商店街での住宅相談会の開催は今年で5年目5回目の開催になります。今年もすまいるネットの倉橋センター長や、神戸市ならびに灘区役所の関係者、灘区選出の市会議員の先生方の訪問もあり、盛大に開催することが出来ました。

住宅相談結果

1. 年代

20才代	1人
30才代	3人
40才代	5人
50才代	4人
60才代	10人
70才代	9人
80才代	3人

2. 地域

灘区内	20人
神戸市内	1人
市外	1人

3. すまいで気になることは？

シロアリ	1人
雨漏	6人
防犯対策	3人
耐震・防災対策	6人
バリアフリー	2人
経年劣化	4人
補修	4人

4. リフォームにいくらかけられるか？

50万円以下	11人
50万～100万円	8人
100万～500万円	3人
500万～1,000万円	1人
1,000万円以上	1人
その他	4人

5. 信頼できる業者はいますか？

自宅を建てた業者	1人
知人・身内	9人
地元の建築業者	7人
大手建築業者	4人
その他	3人

6. 住宅相談会を行なうのにはどこがよいか？

役所（区・市）
市の施設
銀行
イベント会場
地域の会館
商店街
地元のスーパー
ハウジング・センター

7. 当日の状況

耐震診断の相談はあったが、事務所協会の知名度の低さからか、信頼度に不安があった為か、本人がすまいるネットに直接伺う事になりました。

医療・福祉の法人の方より、マンションの外付けEVの設置工事の相談がありました。

資金捻出の為に、マンション敷地内への福祉施設の誘致が前提となっており、現段階ではマンション内での合意形成が取られておらず、合意形

成をとる資料として、後付EVの資料を送付させて頂きました。

雨漏り等3件については、兵庫土建・灘支部が、依頼者と連絡を取り、対応して頂く事となった。

他に壁のクロス、ドア・サッシの補修、外壁塗装、植木、敷地境界の相談がありました。

募金箱を設置したところ、5,320円集まったので、全額灘区社会福祉協議会に寄付をしました。



住宅相談



イスづくり



灘消防署



灘区社会福祉協議会 (ひらめの家)



神戸市社会福祉協議会 (ふわぼん号)



庖丁とぎ

●神戸市すまいの安心支援センター共催セミナー●

耐震診断・改修設計促進キャンペーン

日時：平成25年10月12日（土） 10：00～15：00

場所：第17回灘ふれあい秋まつり会場

都賀川公園・区民センター（神戸市灘区神ノ木通4丁目・千旦通4丁目）

共催セミナー担当 成瀬 秀一

●経緯

神戸支部の灘地区別協議会では5年前より神戸まつりのプレイベントとして5月に王子競技場で開催される「六甲ファミリーまつり」8月の水道筋商店街で「事務所キャンペーン」と神戸市すまいの安心支援センターの後援を頂いて住宅相談会を年に2回開催していましたが、今年初めて3回目を開催することになりました。また灘地区別協議会のイベントとしては、初めての共催での事業でもあります。きっかけは、毎年灘区で、「灘ふれあい秋まつり」があり、参加して会場で「耐震診断の促進キャンペーン」を開催させて頂きたいと、灘区役所に相談を持ち込んだところ了承して頂いて開催できることとなりました。



実は、2年前に神戸市耐震化促進室主催で、すまいるネットと神戸支部とで協力して、この会場で耐震キャンペーンを行なったことがありました。

お祭りでもあり、たくさんの人は集まるが、開催場所は舞台の近くで、関係者の移動も激しく、音楽も流れており、落ち着いての住宅相談は適さないことは経験済みで、住宅相談会より、すまいるネットと神戸支部と共通で取り組んでいる耐震普及活動を行なう事として、後日、神戸市すまいの安心支援センターに共催で耐震キャンペーン開催の相談をさせて頂いたところ快く承諾して頂きました。

●状況

すまいるネットの耐震キャンペーンはアンケートに答えて頂いた方に、ゲームを楽しんでいただき、耐震キャンペーングッズをプレゼントするというものです。アンケートもゲームも順調に進み、1等賞・2等賞も午前中に無くなる盛況さでした。オキールファミリーグッズをプレゼントすることにより、さり気なく耐震診断・改修工事の普及活動を行なっています。



●耐震診断の相談

相談は2件ありました

- ①築50年で連棟式の顧客より耐震診断の相談があり、隣の同意が必要な事を話したところ一度、隣と話してみると言われたので、耐震診断の申込用紙を渡しました。
- ②耐震改修工事を検討しているが、どうすればよいかという相談がありました。詳しく何うと以前すまいるネットで耐震診断を受けられたような記憶があるという事がわかり、後日、電話ですまいるネットと打ち合わせをして頂くことになりました。

事務所協会の配布資料については、協会の封筒による配布は、お客様としても受け取りにくく、配る方も粗品がないと何となく配りにくい、粗品と一緒に資料を配布すれば少しは受け取っていただけたと思われ、配る方も配りやすい。たとえば、封筒を透明にし、粗品を見えるようにして、資料とともに配布するとか、配布に関しても少し工夫が必要だと思いました。

[25年度 テントレイアウト]

25年度 テントレイアウト

★は水道位置
①～⑥はゴミ箱設置位置
▲はクイズラリー問題設置位置

テントの大きさ
大テント: 360cm × 270cm
小テント: 270cm × 180cm ※() 付の数字

テントNo.	団体・グループ・業者名
1	震災交通安全協会 一般社団法人 義家用自動車協会
2, 3	神戸童ライオンズクラブ
4	公益社団法人 灘病院協会 灘病院看護組合連合会 近畿税理士会 灘支部
(45)(47)	神戸市環境局資源課環境部課事業所
(38)	べっこMaMa
※ (48)	神戸市すまいの安心支援センター-財団支援係 (一社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
(50)	都賀川を守ろう会
59.60.(61)	兵庫県自動車整備協会 神戸支部

テントNo.	団体・グループ・業者名
10A	灘区婦人会
10B	灘中央婦人会
11A	灘区上婦人会
11B	灘区婦人会
12A	なごみ婦人会
13B	都婦人会
(14)	六甲俱樂部
(15)	グループホーム六甲 緑ほえみクラブ
17	生活協同組合コープこうべ コープ種彦-コープ数野
(18)(19)	神戸東生会
20	灘区自治会連絡協議会
21	神戸市手をつなぐ育成会灘支部
22	灘区肢体障害者福祉協会
23	特定非営利活動法人マブイ六甲 兵庫をひらくマブイ六甲
(24)	神戸市立ワークセンターいっや
25	サポートステーション灘-つどいの家
26.27	灘チャレンジ実行委員会

テントNo.	団体・グループ・業者名
29	KOBE 在宅ケア・ボランティアグループほほえみ義団
30	灘区聴力衰弱障害者福祉協会&灘手話の会
31.(32)	灘区老人クラブ連合会
(33)(34)	灘区子ども会連合会
36	神戸東おやこ劇場
54	灘区児童館
55	灘区公立保育所
56	神戸市地域子育て応援プラザ灘
(37)	KOBEISM

テントNo.	団体・グループ・業者名
(41)	高野婦人会
(42)	上河原婦人会
(43)	藤原婦人会
(44)	八幡婦人会
※ (45)	灘区選挙管理委員会-灘区明るい選挙推進協議会
(58)	神戸大学環境サークル エコロ
(53)	つなごろう日本-神戸大学生+KOBEISM

テントNo.	団体・グループ・業者名
(14)	灘区連合婦人会
(28)	つどいグループひまわり
(35)	NPO法人のれい
(39)	さきりサウルスの会
(40)	社会福祉法人木の芽福祉会 ひらめの家

テントNo.	団体・グループ・業者名
(51)	本部
52	手旗
53	灘消防団
64.65.66	ステージ出演団サント

すまいるネット

事務所協会・すまいるネット共催事業
神戸市すまいの耐震診断相談会

(一社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
神戸市すまいの安心支援センター

日 時: 平成25年10月12日(土)
時 間: 午前10時～午後3時
場 所: 灘区 都賀川公園

第17回
難ふれあい秋まつり

秋祭り

主催: 灘ふれあい秋まつり実行委員会

内容

- ・すまいの耐震化の相談
- ・家具固定金具の展示
- ・アンケートに答えて
オキールファミリー
グッズのプレゼント

オキールはかせ危機一発!!
アンケート

※該当する箇所に○をつけてください。

■問1. あなたは?

(1) 性別: ① 男 ② 女
(2) 年齢: ① 20代以下 ② 30代 ③ 40代 ④ 50代 ⑤ 60代以上
(3) お住まい: ① 神戸市()区 ② 神戸市以外

■問2. 今後起きる可能性が高いとされる南海トラフ地震についてお伺いします。

(1) 南海トラフ地震に関心がありますか?
① 非常に関心がある ② 少し関心がある ③ あまり関心がない ④ 全く関心がない

(2) 南海トラフ地震が起きたとき、不安に思うことはありますか?
① 建物の耐震性 ② 家具の転倒 ③ 電気、ガス、水道などのライフラインの確保
④ 津波 ⑤ その他()

(3) 南海トラフ地震が起きたとき、あなたのお住まいはどうなると思いますか?
① 潰れるかもしれない【理由: A. 古いから I. 地盤が悪いから U. その他()】
② 傾くかもしれない【理由: A. 古いから I. 地盤が悪いから U. その他()】
③ 阪神淡路大震災でも被害がなかったため、無事だと思う
④ 新しい住宅なので、心配ない
⑤ その他()

(4) お住まいで行っている地震への対策はありますか?
① 家具の固定を行っている ② 家を耐震改修した
③ その他行っている対策があればご記入ください()

■問3. 神戸市で行っている地震への補助制度についてお伺いします。

(1) 神戸市で、無料耐震診断や耐震改修への補助制度があるのをご存知ですか?
① 知っている ② 知らない

(2) 家具を固定する補助制度があるのをご存知ですか?
① 知っている ② 知らない

■問4. その他、ご意見等ありましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

● 建築士による住宅無料相談会 ●

平成25年度建築士事務所キャンペーン報告

日時：平成25年10月19日（土） 11：00～17：00

場所：神戸市須磨区 板宿本通商店街

建築士事務所キャンペーン実行委員長 川崎 史

平成25年10月19日（土）神戸市須磨区にある「板宿本通商店街」で建築士事務所キャンペーンを行いました。昨年に引続いての商店街での開催となりました。板宿駅へ通じる商店街は道幅も広く、また人通も多いため活気がありイベント等も盛んに行われています。そのような商店街のベテラン広報スタッフからの助言「おじさんばかりの地味な雰囲気では人は集まらない。やはり女性の力が必要！！」ということで、今回は初めて女子学生（明石高専建築学科3年）5名にアルバイトをお願いしました。当日は、賛助会員様のご協力

も頂きまして、誰もが楽しめる・写真フレーム作り・乗物ペーパークラフト・ぬり絵・キャラクターとの撮影会・アンケート回答で粗品進呈など盛り沢山の内容でした。板宿商店街のゆるキャラ【いたやどかりちゃん】も登場し【オキールファミリー博士】とのコラボ場面には皆も大盛り上がりでした。女子学生は、子供たちの製作を手伝ったり、アナウンスでMC役を務めたり、またキャラクターを先導したりと大活躍で、商店街の広報の方からスカウトをされるほど頑張ってくれました。そして、子供たちが遊んでいる間に親

御さんは建築相談や、パネル見学ができるので、例年より建築相談者も多く、展示パネルをじっくりと見られる方も大勢いました。キャンペーンが成功に終わり大変良かったです。

今回はキャンペーン主旨をもう少し詳しく女子学生に伝えることで、より良い内容のものができるのではないかと感じました。

会員、賛助会員の方々には多くのご協力をいただきまして誠にありがとうございました。また板宿商店街のスタッフの方々にもいろいろとご指導いただき、感謝しております。御礼を申し上げます。

この内容は、板宿商店街のHPで（トピックス）にも掲載されています。

No.	内 容	相談者
1	RCマンションの騒音（音源は自宅）での相談 音漏れ-RC住宅、サッシを2重にしたい 部屋の壁材を吸音材に。	女性
2	マンションをリフォームしたが請負会社に建築士が所属しておらず、税の控除の証明書が発行できないと言われた。どこに相談すればよいのかわからず立ち寄った。	須磨区 女性
3	借地における住宅相談-震災後建直し15-16年経過 屋根壁補修について。土地を売って欲しいが地主が売らない。2世帯住宅にしたい（息子45歳）	須磨区
4	2階建て住宅リフォーム相談	無記名
5	崩壊危険地域で建替えができるのか	長田区
6	手すりやバリアフリーについての相談	長田区 女性
7	土地は父、建物は相談者自身の所有だが、父に相談しないで建築可能か	長田区 女性
8	建替えの予定があるが、時間が無い為カタログを持ち帰る	須磨区 男性
9	リフォーム（水回り）見積書持参、リフォーム減税での増改築証明書を発行してもらいたいので相談。 設計事務所は高くなるイメージがあるとのことで、設計監理の重要性を説明し工事中の内容を確認の上証明書作成をアドバイスした。	須磨区 男性
10	無料耐震診断申込み	須磨区 男性
11	S53木造住宅 地震が心配-耐震診断を申し込む	須磨区 男性



以下は、キャンペーンに協力してくれた女子学生の感想です。

川崎衣里永
 今回のキャンペーンで地域の方々と建築の話ができたことが私にとってすごく良い経験になりました。私は現在明石高専の建築学科に所属しています。3年生になり建築の知識もだんだんと増え、建築についてやっと現実的に理解できるようになった今、建築を詳しく知らない地域の人々と話すことができ、こんな風に思っているのかと新しい発見につながりました。そして自分が建築を知っているだけでなくそれを知らない人に如何に伝えるかということが大切だと深く感じました。

井上舞子
 人生で初めてのアルバイトだったので最初はとても緊張していましたが、周りの人の助けもあり無事終わることができてよかったです。建築相談の場所にはたくさんの建築士の方がいたので、建築学科の学生として少しでも建築についての話を聞くことができなかつたことが残念ですが、勉強して私も立派な建築士になりたいと思いました。

川崎裕子
 今回のように地域の方々に直接働きかけ話をしたり交流したりするのは、初めてのことでした。事実最近では、私たちのような学生にはあまりない機会だったと思います。貴重な経験をととても楽しくすることが出来ました。建築学生として建築に係るお手伝いをさせていただき良い経験が出来たと思います。

河本有希
 今回、私は初めての経験ですごく勉強になったことがいろいろありました。自分の声が商店街に響く怖さと、慣れてきた時の楽しさ。通る人々と目を合わせることの大切さ、子供たちと同じ目線で話をすると話が弾むこと・・・今思うと全部楽しくてまたやってみたい、そう思います。声や話し方を褒めてもらった時は本当にうれしかったです。

三木 碧
 今回のイベントで普段することのない貴重な経験をさせていただきありがとうございます。地域の皆さんや建築士の皆さんと短い時間でたくさんの人と触れ合うことができました。建築学生として現場で働く建築士の皆さんの仕事を知るいい機会になりました。

高経年マンションの地震対策

●神戸市すまいの安心支援センター共催セミナー●

マンション管理組合向け大規模修繕工事セミナー開催

日時：平成25年11月23日（土） 受付13：00～ 講義13：20～16：30

場所：神戸市すまいの安心支援センター5Fセミナールーム

共催セミナー担当 成瀬 秀一

今までであれば、すまいるネットとの共催セミナーは、すまいるネットに管理組合が開催を希望するテーマの中から、神戸支部として適しているものを、すまいるネットと相談しテーマを決めセミナーを開催していましたが、今回は賛助会の要望を受けて、地震対策というテーマでセミナーを開催しました。

開催あいさつ(1)

(一社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部
支部長 田中 邦男

すまいるネットとの共催セミナーについての趣旨説明をしました。



開催あいさつ(2)

神戸市すまいの安心支援センター
調整担当係長 横田 文子

マンションに関する各種セミナーの紹介、出前講座、耐震無料診断・改修工事補助事業、バリアフリー助成制度、アドバイザー派遣などマンションの相談を水曜日を除いて、窓口と電話で相談を受け付け情報も提供するという案内がありました。



第1部：高経年マンションでの地震対策

(一社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部
柏本 保

■開催の目的

管理会社が大规模改修工事を行なっていましたが、調査・設計・監理・業者選定と数値を出して公平に行ない、施工の結果も良い事から設計事務所が評価されてきたが、管理組合との窓口がない。講習会を介して管理組合と接点を持ちお役にたきたい。



■現状

スクラップ&ビルドからストックへと意識が変わってきた。ライフサイクルコストを考慮する。

■事後保全より予防保全へ

- ・事後保全：劣化部分の修繕
- ・予防保全：日常点検により劣化を事前に特定し、未然に防ぐ、材料機材の機能が発揮できる。寿命を延ばす利点がある。

■地震対策

東日本大震災では、東京でもEVが止まったり、玄関ドアが開かないことがあった。

地震対策を取ることで未然に防ぐことが出来る。地震の勉強の為、東日本大震災の被災地に赴き地元の声を聴き、これからの地震対策に生かせる方法を探った。今回は地震に対する備えとして、EVと玄関ドアについて学習する。

■玄関ドアについて

柏本氏が昨年、大規模修繕工事と同時に行った、地震対策としての耐震玄関ドアの改修工事(カバー工法)について説明がありました。

■EVについて

EVの歴史、EVの地震対策としては、巻き上げ機、制御盤の固定、P波S波のセンサー設置、予備電源による停電時の対策の重要性について話しました。

第2部：避難経路確保のための玄関ドアの地震対策

(一社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部
賛助会会員 北村 憲次

2方向避難で、ベランダ側からの避難ハッチ利用は高齢者や乳幼児の脱出困難な事から、玄関ドアの利用について話をしました。



1/2のデモ機を使用し、扉枠を変形させて扉の開閉状態を普通の丁番と対震(タイシン)丁番と比較しての実験を行ないました。

工法：

・ 枠引抜工事－既存の枠も撤去、すべて新設

- ・ ドアチェンジ工法－枠をそのまま、ドアのみ新設
- ・ カバー工法－既存枠の上から、枠とドアを新設、現在主流
- ・ 金具交換工法－既存枠・ドアはそのまま金具のみを交換する。

対震(タイシン) 丁番：地震で枠が押された場合、丁番の支点を下方に下げて枠と扉の隙間を確保して扉の開閉を容易にする。

耐震プレート：セラミック材で戸と枠の間に接して貼り合わせる。摩擦係数が少なく、高硬度のため扉の開閉が容易になる。枠と扉の隙間が4mm以上必要。

以上の説明をしました。



第3部：エレベーターの耐震機能について

(一社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部
賛助会会員 柳原 正明

■EVの形式

- ・ ロープ式：カゴ室とオモリをつるべ方式でバランスを取り上部機械室に巻き上げ機と制御盤を設置している。
- ・ 油圧式：最下部に機械室をもうけてシリンダーを油圧で上下させる。2009年に生産中止
- ・ 機械レスロープ式：機械室をなくして、巻上機を床に設置、安全性、省エネの向上、2002年以降主流に。

■改修方法

- ・ 制御リニューアル工事：かご・レール・オモリを

残し制御部分を交換する。神戸市では12条5項
でできる。メーカーの変更ができない。

- ・撤去新設工事：EVすべてを入れ替える。安全・
省エネの最新機能のEVの導入が可能。各メー
カーの入札工事ができる。確認申請が必要。

1. ロープ式：制御盤一転倒防止措置

巻上機一転倒防止措置・ロープ
のはずれ防止

オモリーオモリの暴れ止

2. 油圧式：撤去新設工事のみでリニューアルは
できない。確認申請が必要。



■ その他

- ・省エネ：照明にLEDを使用
- ・防犯：カメラの設置 EVの中の状態がわかる・
静止画の録画機能あり
- ・福祉対策：車椅子用操作盤の設置 ドアの開閉
時間が長くなる
について話しました。

* * * *

◆ 事前アンケートの質問

- ・避難訓練はどのようにして開催すればよいか？
とすまいるネットに寄せられたアンケートがあ
りました。参加者の意見を集約した結果、管理
組合の理事長が防火管理責任者を任命し、年間
の計画書を消防署に提出して、許可を得て開催
する。という答えにたどり着きました。

◆ 感想

2部については、デモ機を使って実際に耐震枠
と耐震丁番の効果を学習しました。また、マン
ションの扉の隙間や丁番を確認することで、ご自
身のマンションが地震対策の行なわれている耐震

枠になっているか、耐震丁番になっているかを理
解して頂けたと思います。

3部については、業界標準の部品供給年と、各
マンションのアンケートによるリニューアルの平均
年数とで交換時期が割り出されているが、ご自身
のマンションのEVに延命補修を行なう事で、い
つまで使用できるか、リニューアル時期の目安を理
解して頂けたと思います。

建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正
で、高経年マンションも影響が出てくるところも
あり、大規模修繕工事とともに、耐震改修につい
ても、考えていかないといけなくなり、我々がお
役に立てる機会が増えると思われる。そのためにも、
管理組合に事務所協会を知って頂ける機会と、
信用を得る必要が出てきます。

今回は、企画から開催までの期間が短く、充分
な広報も出来ていない状況での開催でした。すま
いるネットからは、マンション管理組合の役員さ
んへ参加の連絡をして頂き、事務所協会は、各区
役所とまちづくり会館にチラシを置かせて頂き、
面識のある管理組合の役員さんに講習会案内を送
付させて頂きました。

講習会に参加して頂いた17人の半数近くは2～
3か月に1度、お会いするマンション管理組合の
役員さんで、普段は喧々諤々と意見を交わしてい
る間柄です。

長く役員をされておられ、経験も知識も豊富な
せいか、私の思い込みの発言については、問髪入
れず、いつもどおりに、容赦のない突っ込んだ発
言を返してこられた。管理組合の運営についての
話題では、私自身も勉強になりました。



同好会だより

●KJ会 (ゴルフ同好会) 【会長：為金清人 幹事：水野政博、八木啓祐】

ゴルフ同好会は、雨にも負けず風にも負けず、楽しくコンペを行っています。ゴルフを始められた方、久しぶりにプレーしたい方、新しく入会された方々も、ご連絡をお待ちしております。

第171回より新世話人により運営をおこなっています。引継ぎ宜しく申し上げます。

◆第181回 H25.4.24 (城山GC)・・・(参加者13名)
途中中断により順位なし

◆第182回 H25.6.20 (東条の森(東コース))
・・・・・・(参加者10名)

優勝	2位	3位
児島 健吉	為金 清人	水野 政博

◆第183回 H25.10.3 (東条湖カントリー倶楽部)
・・・・・・(参加者10名)

優勝	2位	3位
廣原 俊元	柏本 保	児島 健吉



●KM会 (麻雀同好会) 【幹事：前田進一】

麻雀同好会は娯楽を目的に楽しく開催されており、久しぶりに麻雀される方が多数ですので麻雀の初心者などご遠慮なく参加してください。

◆第41回 H25.6.29開催・・・・・・参加人数8名

優勝	準優勝
植松 實	前田 進一

◆第42回 H25.10.26開催・・・・・・参加人数9名

優勝	準優勝
植松 實	前田 進一



作品紹介



芦屋のシンボルロードとも言われる「宮川けやき通り」の北詰に位置する集合住宅です。地域が持っている独特の歴史観を自分なりに解釈して企画提案しました。デザインの質感のありよう、落ち着き、明るさ、あたたかさなどに注意しながら計画を進めていきました。



設計監理／株式会社瀬戸本淳建築研究室
物件名／ワコーレ 芦屋エンブレム
施工／株式会社 イチケン関西支店
建築場所／芦屋市楠町
工期／平成21年2月～平成22年7月
構造規模／RC造地上6階建
建築面積／843.67㎡
延床面積／4,111.16㎡

●●● 「作品紹介」の募集と展示のご案内について ●●●

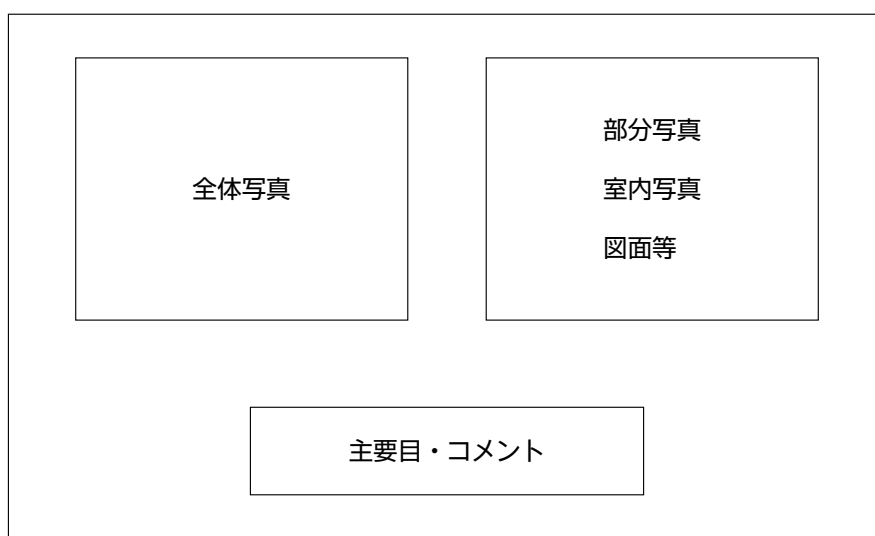
標記について、「作品紹介」を下記の展示・掲載のために、会員の皆様から募集しますので、応募要領により奮ってご応募下さい。

I 「作品紹介」募集について

1. 応募作品の内容

建築物を対象とし、下記の要領で纏めた作品とします。

写真と主要目・コメントを下図(例)のようにA3サイズにレイアウトして、下記の宛先までご送付下さい。



①写真配置は例示したもので複数枚でも可です。

②机上自立展示又は壁に吊り掛け展示になりますので、当方で用意するA3透明硬質ビニール製カードケースに入れて展示しますので、挿入出来るものとします。(カラーコピーで可)

主要目・コメント欄には下記事項を記載して下さい。

- ①物件名 ②設計監理 ③施工 ④建築場所(区町まで) ⑤工期 ⑥構造規模 ⑦建築面積 ⑧延べ面積
⑨内容・コンセプト

* 応募作品は返却しません。

2. 応募作品提出先

連絡先：〒657-0842 神戸市灘区船寺通4丁目5-21 成瀬設計事務所 宛(郵送又は宅配便)

TEL 078-862-0810・FAX 020-4642-2135/Email:naruse2@gmail.com

出来るだけ展示・紹介したいので、その他にご推薦出来る展示場所がありましたらご連絡下さい。

正会員



せともと じゅん
瀬戸本 淳 (兵庫県出身)

株式会社 瀬戸本淳建築研究室

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目1-1 神戸郵船ビル
TEL.078-333-0138 FAX.078-333-0238
URL : http://www.jsao.co.jp E-mail : j-setomoto@jsao.co.jp

主な仕事 人に希望や夢や情熱があるからこそ、ひとつひとつの建築は存在します。お客様と社会に、最大の喜びと感動を味わっていただくために、日々、覚悟を持って努力し、付加価値の高い成果を出すのが私たちの仕事です。

【最終学歴】 神戸大学

【略歴・資格・所属など】

略歴 鹿島建設、安井建築設計事務所を経て、1977年 瀬戸本淳建築研究室創設。
資格 JIA登録建築家、一級建築士、APECアーキテクト、設備設計一級建築士 他
所属 兵庫県建築設計監理協会会長、(一社)兵庫県建築学会会長 他

【趣味、余暇の過ごし方など。】

ジャズを聴きながら、アルトサックスの練習をしている時は、とても幸せな気分になります。いろいろな悲しい事を忘れます。ゴルフは人生のシュミレーションゲームなので、人生の浮き沈みを深く考えさせられます。

【事務所協会のみなさんに一言メッセージ】

いつもお世話になり、ありがとうございます。今後共、よろしくお願いいたします。



ワコーレ山本通センツイオ



世良美術館

正会員



ひらかわ ひろゆき
平川 宏行 (鹿児島県出身)

有限会社 竹久建築設計事務所

〒652-0801 神戸市兵庫区中道通3-4-26
TEL.078-575-4448 FAX.078-575-6954
E-mail : takehisa-ao@leto.eonet.ne.jp

主な仕事 建築設計監理
ハウスジメン住宅瑕疵責任保険現場検査員
ネクストステージ現場監査士

【最終学歴】 工学院大学建築学科

【略歴・資格・所属など】

昭和52年 (株)松田平田設計事務所退社
昭和52年 竹久建築設計事務所入社
平成7年 有限会社竹久建築設計事務所代表

【趣味、余暇の過ごし方など。】

自治会活動・ドライブ



株式会社メタルカー三和工場
夜景 : H24/9竣工



株式会社メタルカー三和工場
加工室



マチュール谷町 (賃貸マンション) H25/8
竣工

正会員



かわさき
川崎 ふみと
史 (兵庫県出身)

株式会社 川崎設計 一級建築士事務所

〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町3丁目1-10 石本ビル301
TEL.078-576-1820 FAX.078-576-1856
E-mail : kks4724@watch.ocn.ne.jp

主な仕事 建築設計・監理
耐震診断
建物調査

【最終学歴】 摂南大学工学部建築学科卒業

【略歴・資格・所属など】

資格 一級建築士 (第202668号)
特殊建築物調査資格者 (第34974号)
兵庫県ヘリテージマネージャー (第11-19号)

【趣味、余暇の過ごし方など。】

最近好きなジャンルの音楽を聴きながらのドライブやサスペンスを見ることでストレスを解消しています。

【事務所協会のみなさんに一言メッセージ】

情報満載の神戸支部ホームページを活用して下さい。又、総務部から発信されています案内メールも是非ご覧ください。



高野山真言宗 無動寺 大規模保存修理工事
有限会社播磨社寺工務店の施工で、工期3年を要して現在、大規模な保存修理工事を設計・監理しています。

正会員



まえだ ゆり
前田 由利 (大阪府出身)

一級建築士事務所 YURI DESIGN

〒658-0047 神戸市東灘区御影3-8-4
TEL.078-846-5125 FAX.078-846-6525
URL : <http://yuri-d.com> E-mail : info@yuri-d.com

主な仕事 「人と環境に負荷の少ない家づくり」をめざし、住宅や店舗、医療施設の設計・監理を行う。今まで竣工した、木造傾斜屋根緑化建築は、45件で日本で一番多い。2010年「草屋根の会」を発足して、全国的な屋根の緑化の普及を目指しています。

【最終学歴】 関西大学工学部建築学科

【略歴・資格・所属など】

関西大学卒業後、デベロッパーを経て「人と環境に負荷の少ない家」を目指し1998年一級建築士事務所YURIDESIGN設立。関西大学非常勤講師 (2002～2010年)。神戸市教育委員会「エコスクールプロジェクト」委員 (2006年) 芦屋市景観アドバイザー (2006年～)。一級建築士。CASBEE戸建評価員。兵庫県ヘリテージマネージャー。

【趣味、余暇の過ごし方など。】

長年クラシックバレエを続けていて、これからはがんばろうと思います。細々とお茶も習っていますが、自然とともに生きてきた日本の先人たちの知恵と文化にいつも感動し、勉強になります。子育ても

ほぼ一段落。未知の風景や文化に触れる旅にも出かけたくて仕方ありません。

【事務所協会のみなさんに一言メッセージ】

誰もが声をかけられるような、楽しい会だったらいいなあと思っています。これからもどうぞよろしく願いたします。



あたご山の草屋根



カフェベルグ

正会員



さがわ けい
佐川 圭 (兵庫県出身)

株式会社 創建設計事務所

〒652-0814 神戸市兵庫区門口町1番33号
TEL.078-652-9007 FAX.078-652-9002
URL : <http://www.sokensekkei.com/> E-mail : kei-sagawa03@mbk.nifty.com

主な仕事 オフィスビル・マンション・宿泊施設(旅館・ホテル)・商業施設(ゴルフクラブ、スポーツクラブ)・福祉施設(介護施設・高齢者施設・高齢者住宅)・医療施設(病院・診療所)・宗教施設(教会・修道院)、工場・学校・幼稚園・保育園・銀行・倉庫etc.の設計監理

【最終学歴】大阪芸術大学

【略歴・資格・所属など】

資格 一級建築士・応急危険度判定士
所属 兵庫県建築士事務所協会、兵庫県建築士会、日本建築家協会、兵庫県建築設計監理協会

【趣味、余暇の過ごし方など。】

趣味はゴルフ、と書いていましたが最近は年に数回程度、余暇は家でぼーっと。完全な運動不足状態。体重とコレステロール値を気にする今日この頃です。唯一の趣味と言えるのは月一回の「書」のお稽古です。

【事務所協会のみなさんに一言メッセージ】

趣味、余暇の過ごし方を模索中です。皆様からアドバイス頂ければ幸いです。



カワノ本社ビル



大塩歯科



岩岡保育園

正会員



よしだ まさお
吉田 多雄 (兵庫県出身)

株式会社 吉田設計事務所

〒650-0031 神戸市中央区東町116番2号 オールド・ブライト6F
TEL.078-332-2720 FAX.078-332-2770
URL : <http://yoshidasekkei.com> E-mail : yoshida.masao@yoshidasekkei.com

主な仕事 計画・設計業務：各種用途の新築、増築、改築(リフォーム)、街づくり設計、構造設計、各種診断、補強設計 監理業務：各種建築物の監理 申請業務：建築確認、開発許可、宅造許可、調整区域内建築許可、各公庫申請、性能評価申請、定期報告

【最終学歴】大阪工業大学建築学科

【略歴・資格・所属など】

平成11(1999)年4月 (有)構造フォルム 入社
平成14(2002)年11月 (株)吉田設計事務所 入社
(現：修成建設専門学校 非常勤講師)
資格 一級建築士、構造設計一級建築士、住宅性能評価員

【趣味、余暇の過ごし方など。】

走るなど体を動かす事は好きです。休日は、親しい仲間と集まって、ボランティア活動に参加したりしています。

【事務所協会のみなさんに一言メッセージ】

本年度は研修部で皆様にお世話になりました。良い勉強になりました。今後とも、ご指導お願いいたします。



W住宅



陶芸館



Tビル

正会員



たけだ としお
竹田 利夫 (広島県出身)

協同組合 都市設計連合

〒651-0092 神戸市中央区生田町1-4-20 新神戸ビルディング9F
TEL.078-262-8900 FAX.078-262-8910
URL : <http://www.udu.or.jp> E-mail : takeda_t@udu.or.jp

主な仕事 昭和41年の設立以来、協同組合という各種専門会社で構成された、主に再開発事業の専門コンサルタント(計画、設計、監理含む)として、全国の再開発事業に携わってきました。また、数年前より、マンション再生(調査・診断、大規模修繕、建替え)に関する、コンサルタント(計画、設計、監理含む)も行っています。

【最終学歴】 京都工芸繊維大学工学部住環境学科
昭和57年卒業

【略歴・資格・所属など】

略歴 昭和57年不二建設株式会社入社、平成6年不二建設株式会社退社、平成6年協同組合都市設計連合入社
資格 一級建築士、一級建築施工管理技士、インテリアプランナー
所属 兵庫県建築士会

【趣味、余暇の過ごし方など。】

スポーツ観戦、音楽、美術鑑賞(上っ面だけの知識ですが)等が好きですが、学生時代から続けています。バレーボールで、コーチング等も行っています。

【事務所協会のみなさんに一言メッセージ】

いつもお世話になっております。なかなか、イベント等に参加できませんが、協会のおかげを大事にしていきたいと、今後ともよろしく願います。

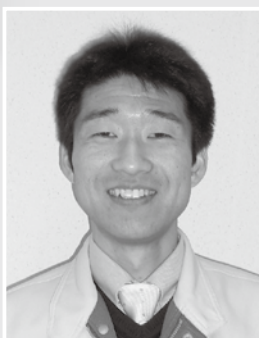


明石東仲ノ町地区
第一種市街地再開発事業
(アスピア明石：平成13年)



岡山市平和町1番地区
第一種市街地再開発事業
(ルミノ平和町：平成21年)

正会員



もりわき しょういち
森脇 匠一 (兵庫県出身)

丸正建設株式会社 一級建築士事務所

〒653-0801 神戸市長田区房王寺町7丁目2番7号
TEL.078-621-8678 FAX.078-621-8069
URL : <http://www.marusyo-k.co.jp/> E-mail : s_moriwaki@marusyo-k.co.jp

主な仕事 意匠設計

【最終学歴】 大阪工業大学工学部建築学科

【略歴・資格・所属など】

(株)ひょうかい→(株)B&N企画設計室→丸正建設株式会社一級建築士事務所
一級建築士

【趣味、余暇の過ごし方など。】

吹奏楽(三田市、ウインドアンサンブルコスモス所属、トランペット担当)
ジョギング(三田マスターズマラソンなど出場)、庭の草引きや剪定(西宮市山口町在住)
五児の父。

【事務所協会のみなさんに一言メッセージ】

気軽にお声かけてください。



芦屋市A様邸



神戸市K様邸



芦屋市立潮芦屋交流センター

正会員



おた ひろし
太田 博士 (兵庫県出身)

有限会社 大田建設一級建築士事務所

〒655-0024 神戸市垂水区御霊町7番16号
TEL.078-709-8880 FAX.078-709-8870
URL : <http://www.ota-const.com> E-mail : ota-const@nifty.com

主な仕事

分譲住宅や注文住宅の企画・設計・建築・販売 等を行っています。

【最終学歴】大学院卒業

【略歴・資格・所属など】

大学院卒業→ゼネコンに入社(東京で地下駅の新設工事現場や土木設計に勤務 計7年間)
→有限会社大田建設に入社 現在に至る
一級建築士・一級土木施工管理技士・宅地建物取引主任者

【趣味、余暇の過ごし方など。】

時間があれば旅行に行っています。近頃のお気に入り、温泉や沖縄です。もう一度、バルセロナに行きたいと思い、日々仕事に精進しております。下手ながらゴルフやスキーを続けております。また食べ歩きも趣味にしています。

【事務所協会のみなさんに一言メッセージ】

学校では、土木を専攻しておりました。建築士になって5年目の若輩者ですが、よろしくお願ひ致します。



白い部屋



たるみの家



シンプルなりビング

正会員



みやけ まさひろ
三宅 正浩 (島根県出身)

y+M design office

〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3-3-7 林タオルビル1F
TEL.078-891-7616 FAX.078-891-7620
URL : <http://ymdo.net/> E-mail : ymdo@feel.ocn.ne.jp

主な仕事

建築設計、店舗設計

【最終学歴】大阪市立大学

【略歴・資格・所属など】

一級建築士、一級建築施工管理技士、測量士、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーター2級

【趣味、余暇の過ごし方など。】

建物探訪

【事務所協会のみなさんに一言メッセージ】

なかなかお会いする機会がありませんが、よろしくお願ひいたします。



舞台裏の家



beret



階段の家

賛助
会員



まつもと まさあき
松本 正彰 (兵庫県出身)

株式会社 ベルアート

〒655-0006 神戸市垂水区本多間3丁目9番7号
TEL.078-781-1388 FAX.078-781-0204
URL : <http://www.bellart-kobe.jp> E-mail : bell-art@basil.ocn.ne.jp

主な仕事 特定建設業 建築一式・塗装工事業・防水工事業
マンション・ビル等の大規模修繕工事・木造住宅耐震改修・新築 増改築工事

【最終学歴】 神戸大学工学部化学工学科S53年卒

【略歴・資格・所属など】

一級建築施工管理技士
神戸六甲ポートライオンズクラブ
マンション管理士 日新信用金庫総代
危険物取扱作業主任 他

【趣味、余暇の過ごし方など。】

めったにない休日は、近所に住む孫が来て私を遊んでくれます。
妻が衣装ケース3箱分ほど所蔵の韓流ドラマDVDの時代劇を見る事が趣味と言えば趣味です。

【事務所協会のみなさんに一言メッセージ】

大規模改修工事の工事だけでなく、調査・積算・報告書作成等もさせていただきます。注入器具の特許、クラック等からの水の排出孔の特許も持っています。大規模改修の経験は35年以上あります。

賛助
会員



みはら よしゆき
三原 芳之 (大阪府出身)

三和シャッター工業株式会社

〒657-0852 神戸市灘区大石南町2丁目3-7
TEL.078-871-5557 FAX.078-871-5532
URL : <http://www.sanwa-ss.co.jp> E-mail : miharayo@sip.sanwa-ss.co.jp

主な仕事 自社製品のPR業務等

【最終学歴】 近畿大学

【略歴・資格・所属など】

静岡県・愛知県と中部地方を渡り歩き、今に至ります。

【趣味、余暇の過ごし方など。】

ダッチオープン料理・ケーキ作り

【事務所協会のみなさんに一言メッセージ】

お役に立てますようにがんばります。



おやつケーキ



クリスマスのローストチキン



キャンプでバリエア

賛助
会員



新田 悦司 (兵庫県出身)

デジタルグラフィック株式会社

〒650-0043 神戸市中央区弁天町1-1
TEL.078-371-7000 FAX.078-371-7001
URL : <http://www.dgdg.co.jp> E-mail : win@dgdg.co.jp

主な仕事 神戸支部様、広報誌「アプローチ」の作成、他に業務報告書、総会議案書など製作、印刷しています。印刷物のご用命は、賛助会デジタルグラフィックをよろしくおねがいします



【最終学歴】神戸学院大学経済学部経済学科

【略歴・資格・所属など】

兵庫県建築士事務所協会賛助会員

【趣味、余暇の過ごし方など】

釣り(紀州釣り)で黒鯛狙いですが、いつも成績は思わしくない)
洋ラン栽培(鉢をならべてポーツとするひと時を楽しんでいます)



新 入 会 員 紹 介

【賛助会員】

支 部	名 称	代 表 者 名 (担当者名)	所 在 地 / TEL / FAX	業 種
神 戸	おおさか し てん (株)サムシング大阪支店	やま と えい い ち ろ う 大和 英一郎 ふ く も と ゆ う す け (福本 勇介)	〒664-0842 伊丹市森本6丁目12	地盤調査・地盤改良工事
			TEL : 072-773-5480 FAX : 072-773-5481	
E-mail : e_yamato@s-thing.co.jp				
神 戸	に っ ぽ ん 日本ヒューム(株)	行 力 義 人 (西村 悟)	〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目7-25 TK靱本町ビル	既成コンクリート杭メー カー
			TEL : 06-6479-2020 FAX : 06-6443-8233	
E-mail : s-nishimura@nipponhume.co.jp				
神 戸	か ん さ い と け ん こ う ぎ ょ う 関西塗研工業(株)	藤 田 廣 行 (藤田 秀人)	〒553-0001 大阪市福島区海老江8丁目8-7	・ 建築工事業 ・ 大規模修繕工事業
			TEL : 06-6454-1271 FAX : 06-6454-1672	
E-mail : info@kansaitoken.co.jp				
神 戸	さ く ら し ょ う かい (株)桜商会	石 原 守 (村松 恭信)	〒650-0013 神戸市中央区花隈町21番7号	コピー、製本、データ入 出力、マイクロフィル ム、印刷、OA機器販売、 Tシャツプリント、ノベ ルティ
			TEL : 078-341-6461 FAX : 078-341-3187	
E-mail : sakuracopy@sakura-copy.co.jp				



「脱出経路確保」という観点で

地震に立ち向かう!

それが私たちの使命です。

おかげさまで

10年で4631件

マンションの「玄関ドア対震改修事業」進行中!!

近い将来発生するとされる南海トラフ地震。

今、これに備えておくことが必要です。

北村鉄工所は、「マンションの地震対策」の一環として、

住戸からの脱出経路の確保となる「玄関ドアの対震改修工事」を進めてきました。

一方、マンションの大規模改修工事において、「地震対策工事」の導入を促すために、当協会会員の皆様と共に、管理組合に向けたセミナー開催など、徐々に普及活動を進めております。

activity

1

神戸市すまいるネット共催セミナー

「高経年マンションの地震対策」開催しました!



第2回もご期待ください!

2013年11月23日すまいるネットにて、正会員(株)アーキノヴァ設計工房様、賛助会員菱電エレベータ施設(株)様との協働にて開催。市内のマンション管理組合から、18名の聴講ご参加をいただきました。

activity

2

当社が独自で実施した
玄関ドアの対震改修工事の
実績は、おかげさまでこの10年間で
4,631件に上ります。

伊丹市「桜台ハイツ」/神戸市「北野ダイヤハイツ」/神戸市「和光ハイマート」など、兵庫県下でも多くのマンションで当社の対震ドアは採用されています。



activity

3

UR都市機構の全国の
マンションの玄関ドアの
耐震化に採用!
現在、工事進行中



activity

4

全国の国家公務員宿舎に
採用決定!

対震丁番・累計出荷数611,306個(2013年10月末現在)

TOYOTAプリウスのバッテリーを製造するクリーンルームに、
摩耗による金属粉を抑える丁番を納入。

K-iw 株式会社北村鉄工所

本社/大阪市東住吉区桑津4丁目12-22

TEL.06(6719)3031 FAX.06(6719)3043

<http://www.taishin-hinge.com/>



資産価値を守る大規模修繕工事



国土交通大臣許可(特-22)第14858号

関西塗研工業株式会社

本 社 大阪市福島区海老江8丁目8番7号
〒553-0001 TEL(06)6454-1271(代)
FAX(06)6454-1672
神戸営業所 神戸市中央区籠池通4丁目1番50号
e-mail : info@kansaitoken.co.jp
http://www.kansaitoken.co.jp



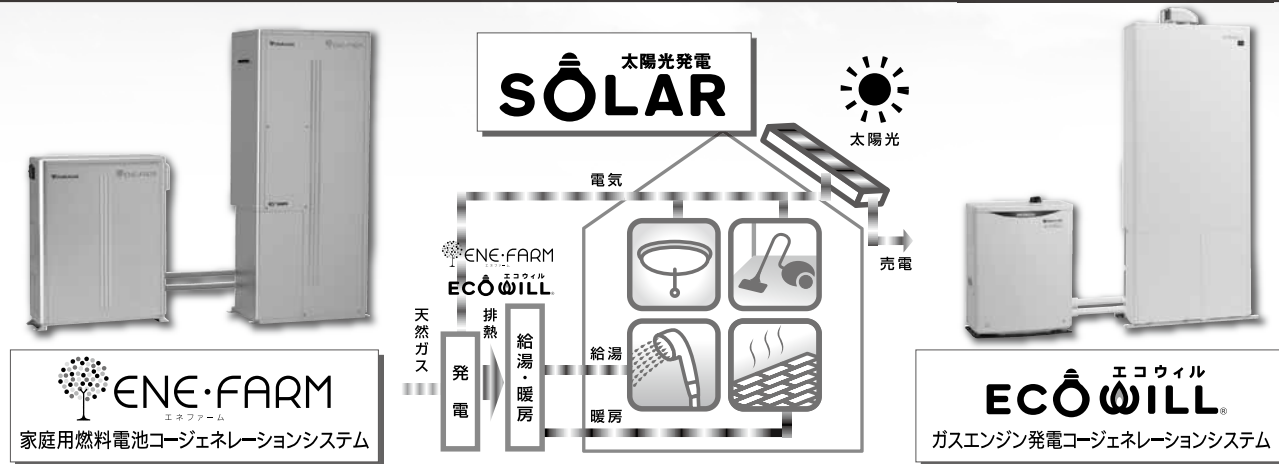
FS556255/ ISO9001:2008

ISO認証 9001:2008/ JIS Q 9001:2008 認証取得
(鋼構造物大規模改修工事部門)



「エネファーム×太陽光発電」「エコウィル×太陽光発電」なら 環境的にも経済的にも優れています!!

電気は「使わず」に「売る」時代。
太陽光×ガスのハイブリッドなら売電量が増えてエコノミー!



お問い合わせは

グッドライフ
コール
020-000-555

受付時間

平日 8:00~20:00
日祝 9:00~17:30

大阪ガス家庭用ガス機器総合情報サイト

http://home.osakagas.co.jp/search_buy/index.html

Design Your Energy 夢ある明日を

大阪ガス



みなさまの暮らしとともに。

Life with SANWA SHUTTER

夜が明ける。

朝の光が差し、一日のはじまりが告げられる。

住まいやお店のシャッターが開き、「おはよう」。

マンションのドアが開き、「行ってきます」。

街ではさまざまな施設が目覚まし、

出入口に人が行き交いはじめ、活気に満ちていく。

私たちはシャッターやドアなどの

誰もがごく自然に利用するスチール建材をご提供しています。

安全・安心・快適をスローガンに

都市空間、商空間、住空間のさまざまなシーンで

みなさまの幸せを守ることや、笑顔をつくるお手伝いをしています。

これからも変わらず、みなさまの暮らしとともに。



駐車場

【創ります
借ります
管理します
買います】

の御相談は是非当社に!!

(株)イーエスプランニング

神戸市中央区栄町通6丁目1-19
TEL 078-362-2512(代)
FAX 078-362-2515

■アプローチ44号投稿のお願い

本誌面を通じ会員の交流や意見、研究等の発表の場として活用して戴きたく、会員・賛助会様には、内容については自由ですのでたくさんのご投稿をお待ちしております。

投稿先

〒658-0047 神戸市東灘区御影3-8-4

一級建築士事務所 YURI DESIGN 前田由利

TEL.078-846-5125/FAX078-846-6525

E-mail : info@yuri-d.com

編集後記

アプローチを担当させていただいて、2冊め。ようやく少し要領がわかってきました。あちこちから原稿をいただくたび、1年間でいろいろと活動していたのだなと実感…。

この号は、特集のテーマを「緑と建築」にしたので初めてカラーを少し使わせていただきましたが、いかがでしょうか？

会員相互理解のために、プロフィールコーナーを作りました。数は少なかったのですが、コミュニケーションのきっかけになればと願います。皆様、ご協力ありがとうございました。

前田由利

■編集 一般社団法人兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
広報部 担当副支部長 藤澤 利行
広 報 部 長 前田 由利
担 当 幹 事 成瀬 秀一
ス タ ッ フ 植松 實
前田 さえ
三宅 正浩
森脇 匠一
賛助会 三和シャッター工業㈱ 三原 芳之
大創建設工業㈱ 稲岡 栄造

■発行 一般社団法人兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
神戸市北区鈴蘭台南町5-5-25-103
〒651-1113
パウレ設計室内
TEL 078-592-3861
FAX 078-592-3861

■編集 集 デジタルグラフィック株式会社
神戸市中央区弁天町1番1号
TEL 078-371-7000
FAX 078-371-7001